

「(仮称)青森市地域福祉計画」策定に係る

アンケート調査

(町(内)会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員用)

集 計 結 果

■ 調査目的

新しい「(仮称)青森市地域福祉計画」の策定に当たって、市民や各団体の考え・意識などの現状と課題を把握し、地域福祉計画の基礎資料とするため。

■ 調査対象者数

1,063件

- ・町(内)会:410
- ・地区社会福祉協議会:38
- ・民生委員・児童委員:615

■ 調査期間

町会:21日間 (平成27年6月22日～平成27年7月12日)

地区社会福祉協議会:15日間(平成27年6月10日～平成27年6月24日)

※ 民生委員・児童委員は、6月5日～22日の18日間

■ 調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した調査対象者へ郵送により配布し、郵送により回収する

※ 民生委員・児童委員は「青森市民生委員児童委員協議会」理事会にて配付、郵送により回収

■ 回答数、回答率

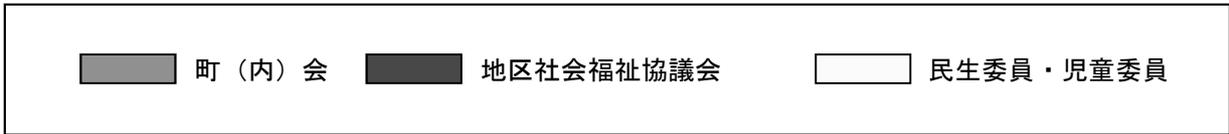
822件、77.3%

■ 対象者別回答数・回答率

対象者	町(内)会	地区 社会福祉協議会	民生委員・ 児童委員	合計
対象者数	410	38	615	1,063
回答数 (回答率)	324 (79.0%)	32 (84.2%)	466 (75.8%)	822 (77.3%)

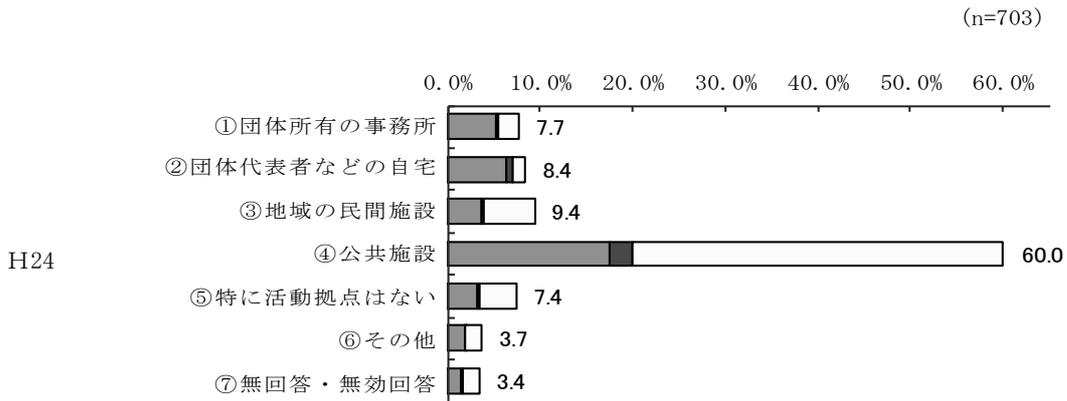
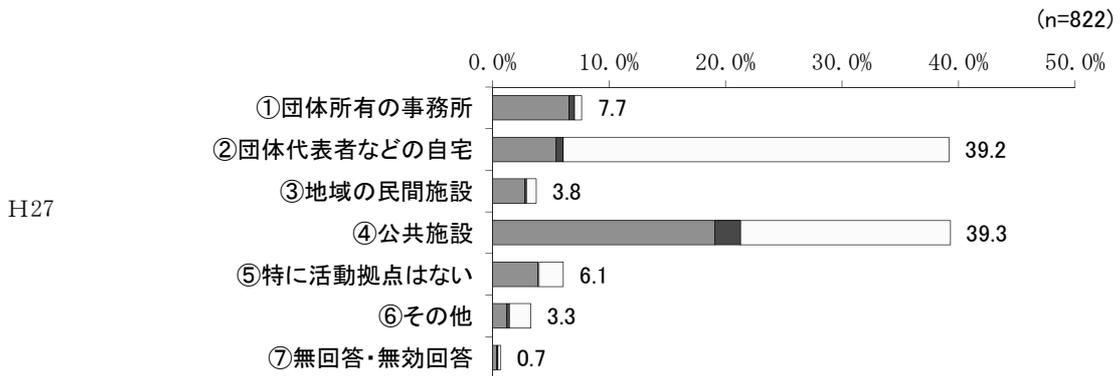
■ 注意事項

- (1) 図表中の「n」は、回答数を示しています。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答数を基礎として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答形式の設問については、回答比率の合計を100%とするために、その設問の総回答数を基礎として回答比率を算出しています。



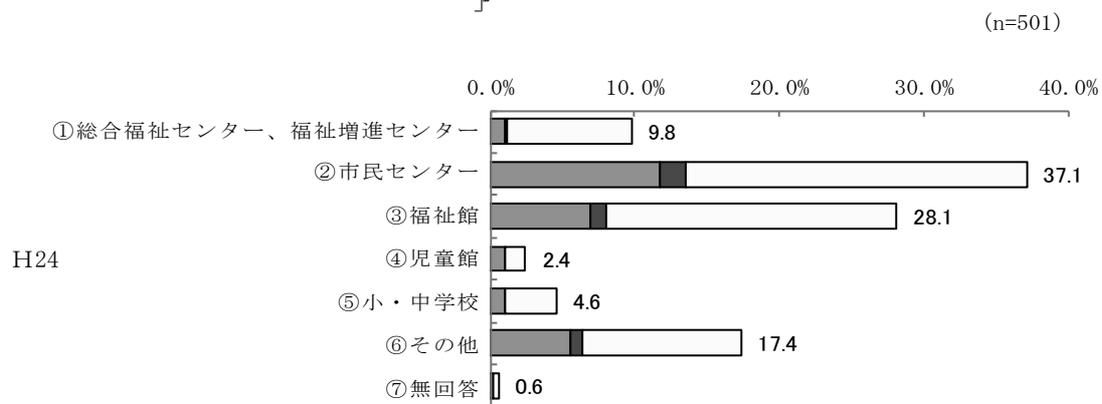
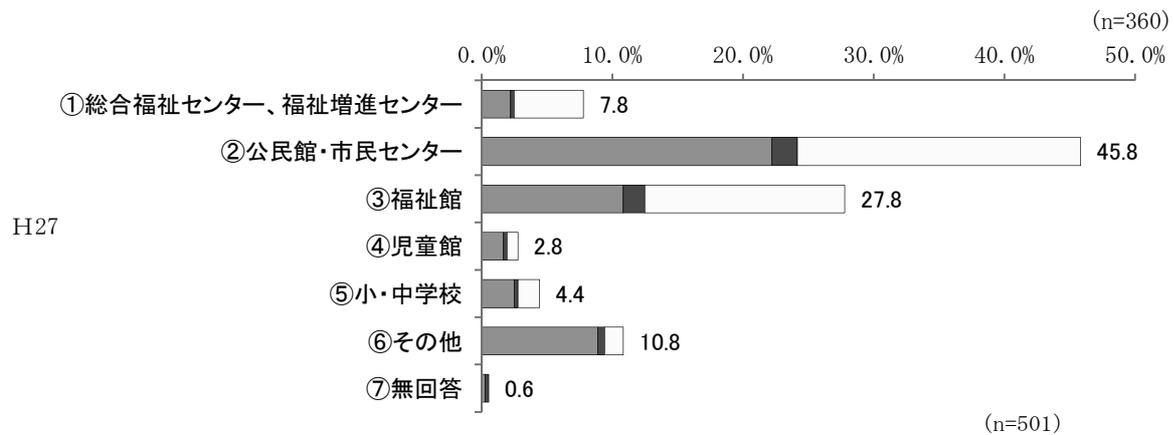
《 I. 地域での活動状況について 》

【問2】
 地域活動を行う上で、貴団体の主な活動拠点は、次のどれにあたりますか。該当するものに○をつけてください。(○は1つ)

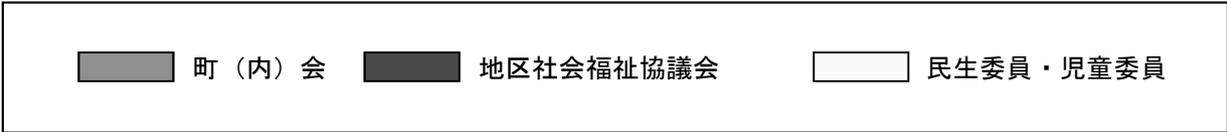


活動拠点については、「④公共施設」と回答した割合が39.3%と最も高く、次いで「②団体代表者の自宅が」が39.2%となっています。前回の調査と比較すると、公共施設の割合が減少しました。

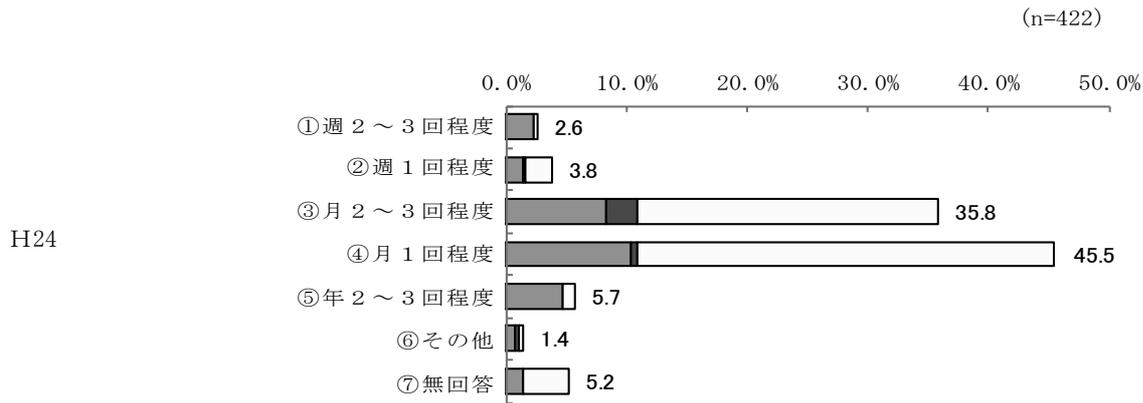
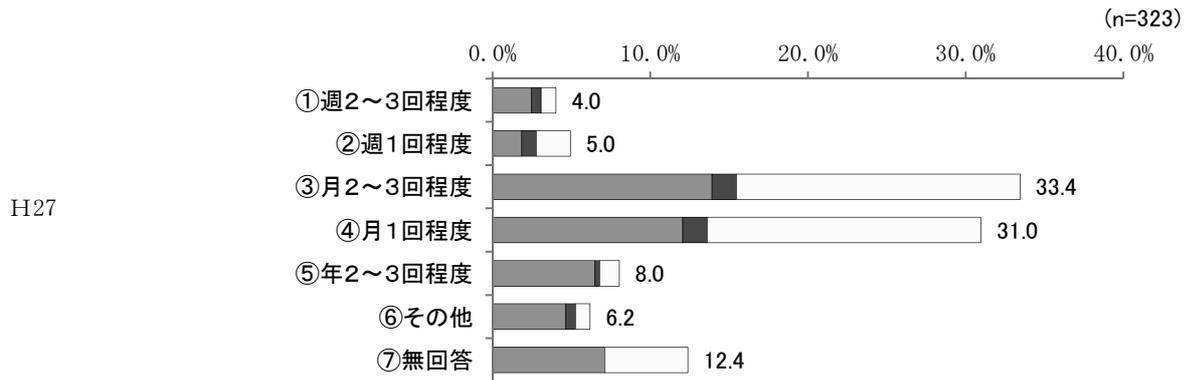
【問3】<【問2】で「公共施設」と回答した方のみ>
 主な活動拠点としている公共施設は、次のどれにあたりますか。該当するものすべてに○をつけてください。
 (複数回答)



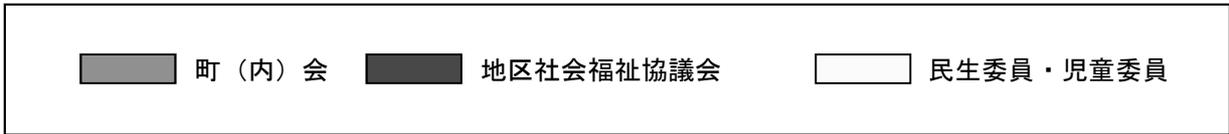
活動拠点としている公共施設については、「②市民センター」と回答した割合が45.8.%と最も高く、次いで「③福祉館」が27.8%となっているほか、「⑥その他」の割合がやや高く、前回の調査とほぼ同様の結果となっています。



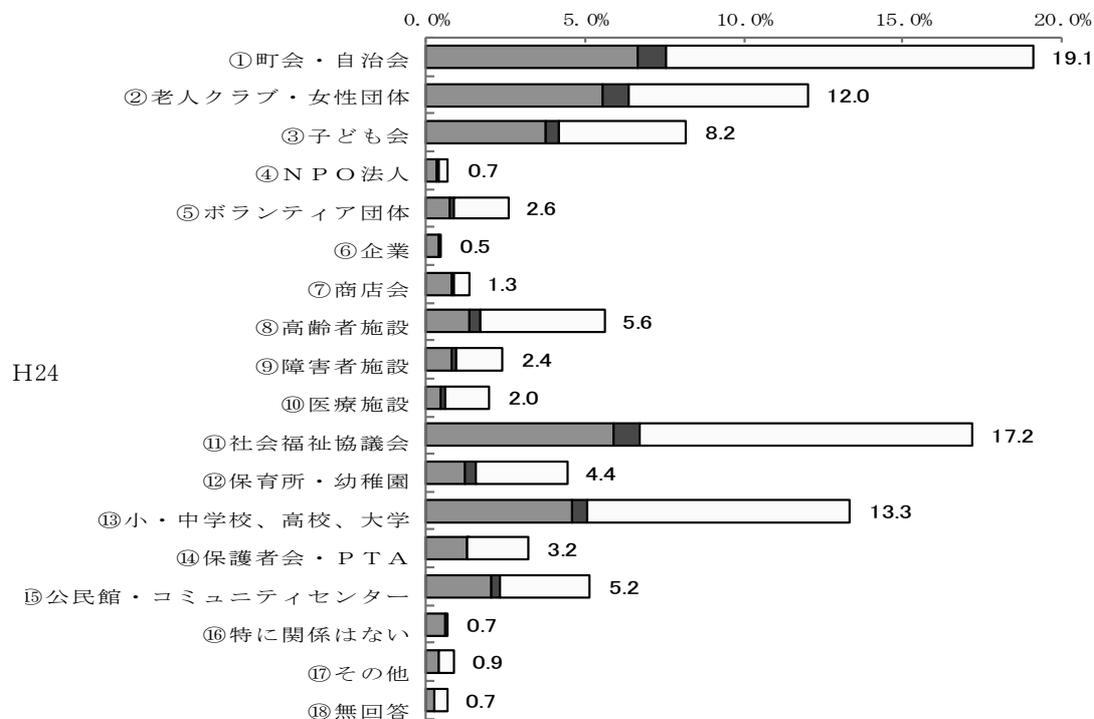
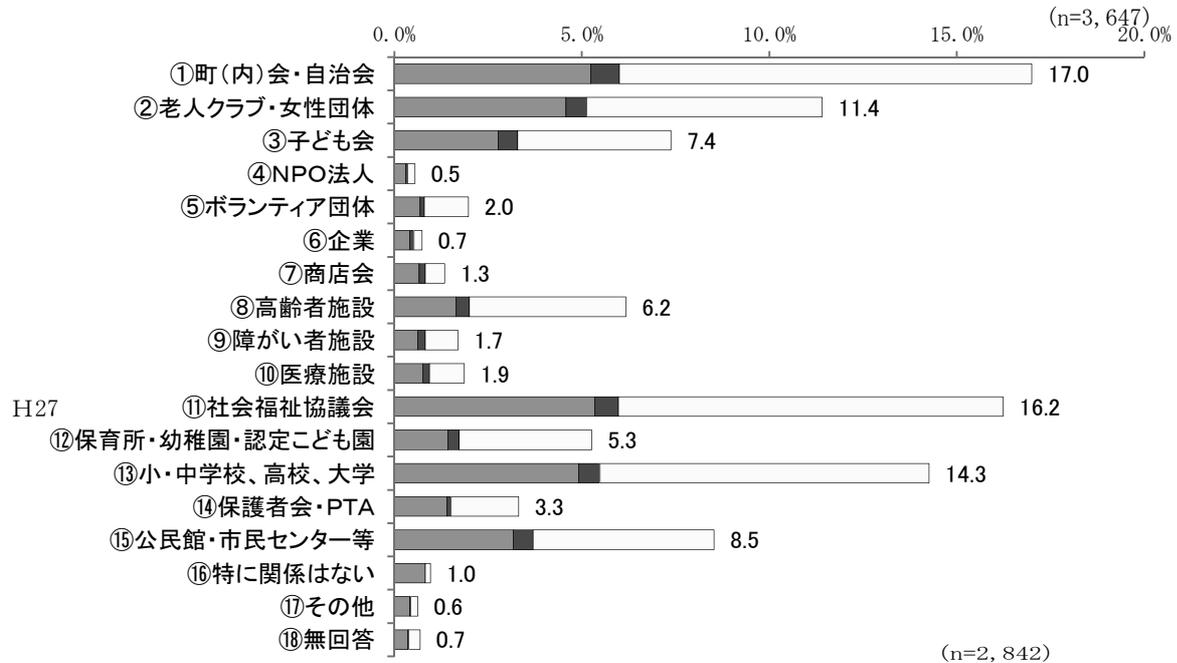
【問4】 <【問2】で「公共施設」と回答した方のみ>
 主な活動拠点としている公共施設の利用頻度は、どれくらいですか。該当するものに○をつけてください。
 (○は1つ)



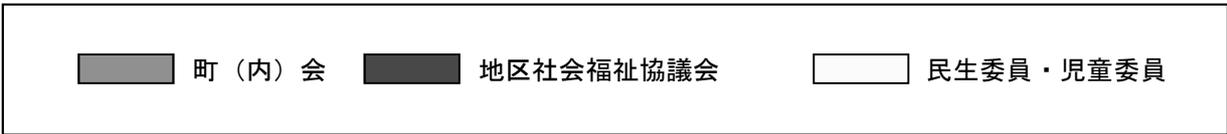
活動拠点としている公共施設の利用頻度については、「③月2～3回程度」と回答した割合が33.4%と最も高く、次いで「④月1回程度」が31.0%となっています。前回の調査と比較すると、月1回程度利用する割合の人が減少しています。



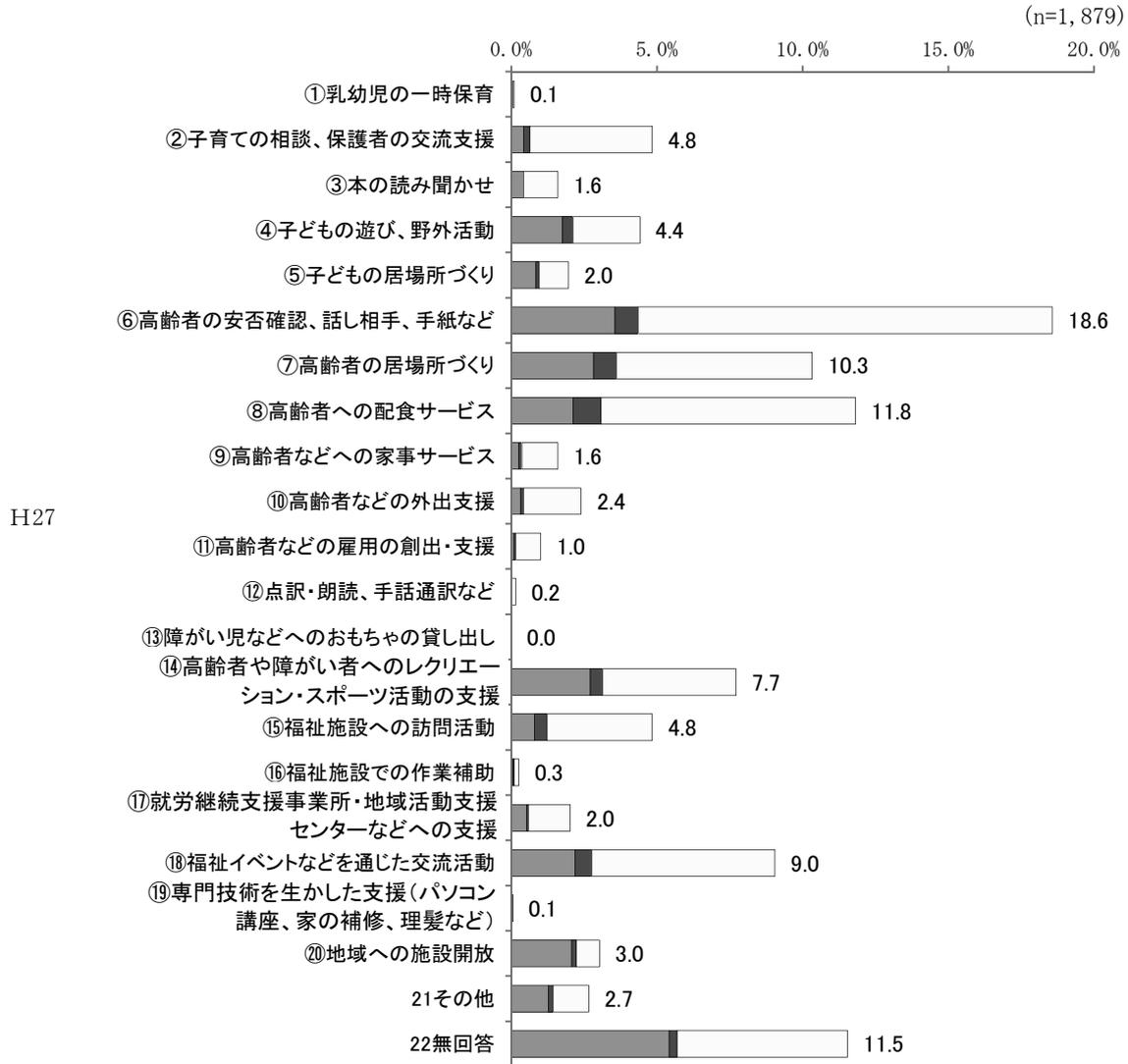
【問5】
貴団体は、他の団体や公共機関などと交流や協力関係がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



他の団体や公共機関などとの交流や協力関係については、「①町会・自治会」と回答した割合が17.0%と最も高く、次いで「⑪社会福祉協議会」が16.2%となっています。
「⑬小・中学校、高校、大学」や「②老人クラブ・女性団体」もやや高くなっています。
前回の調査と比較するとほぼ同様の結果となっています。

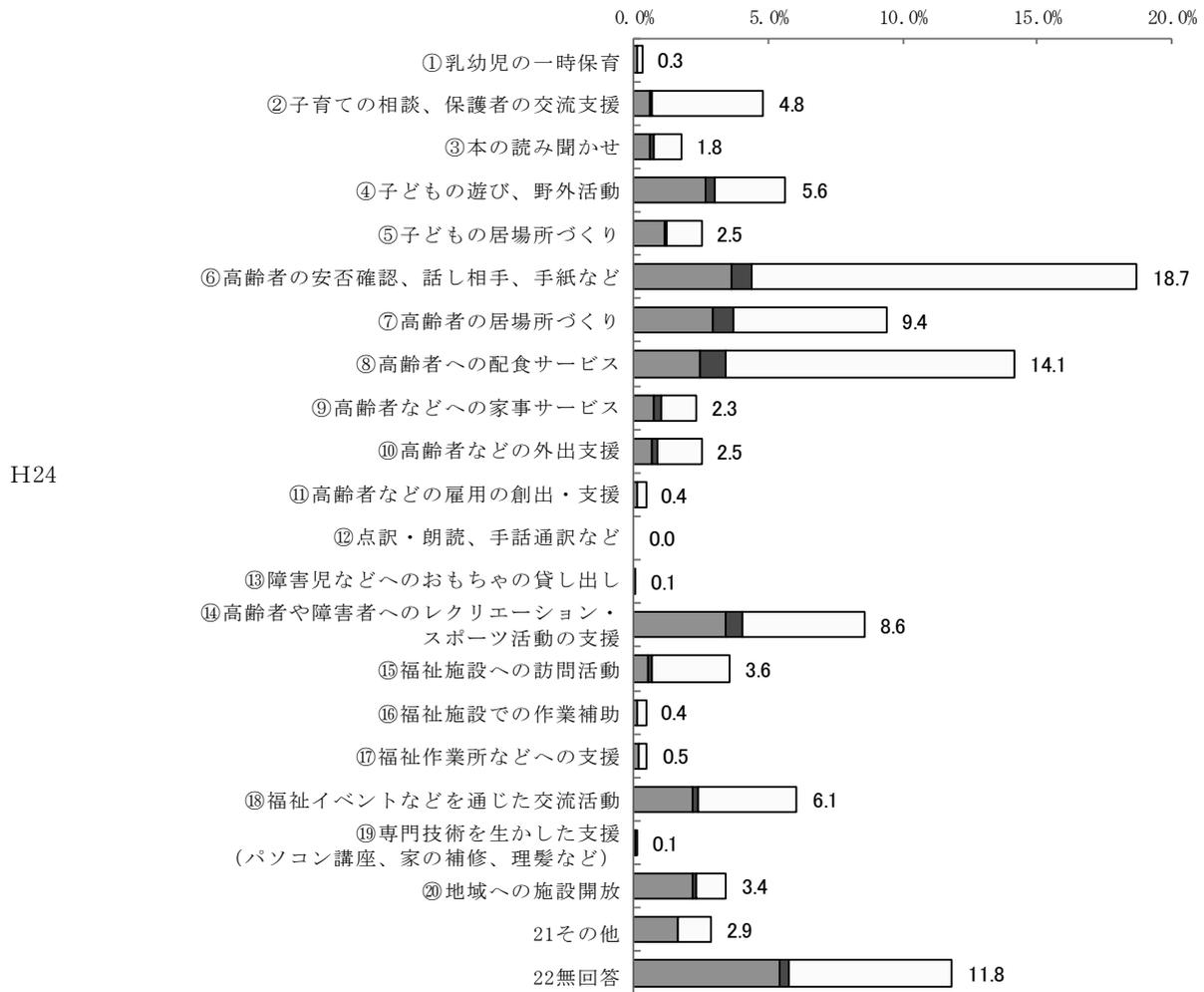


【問6】<【問5】で「特に関係はない」以外と回答した方のみ>
貴団体が、他の団体や公共機関などと交流や協力して行っている活動は、どのような活動ですか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



H27

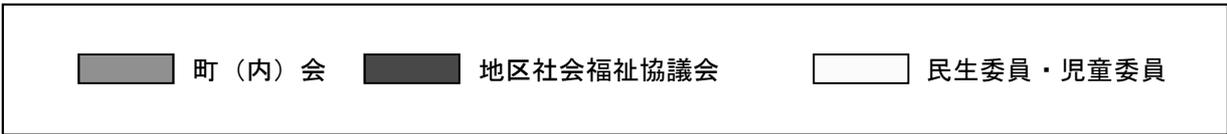
(n=1,598)



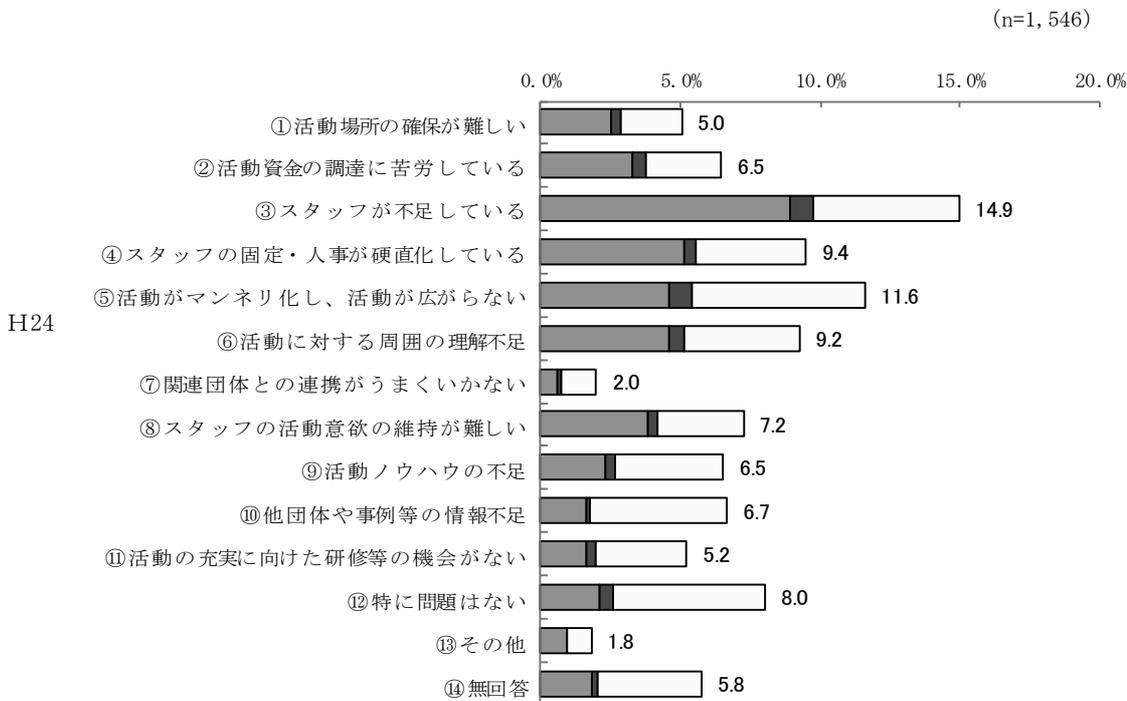
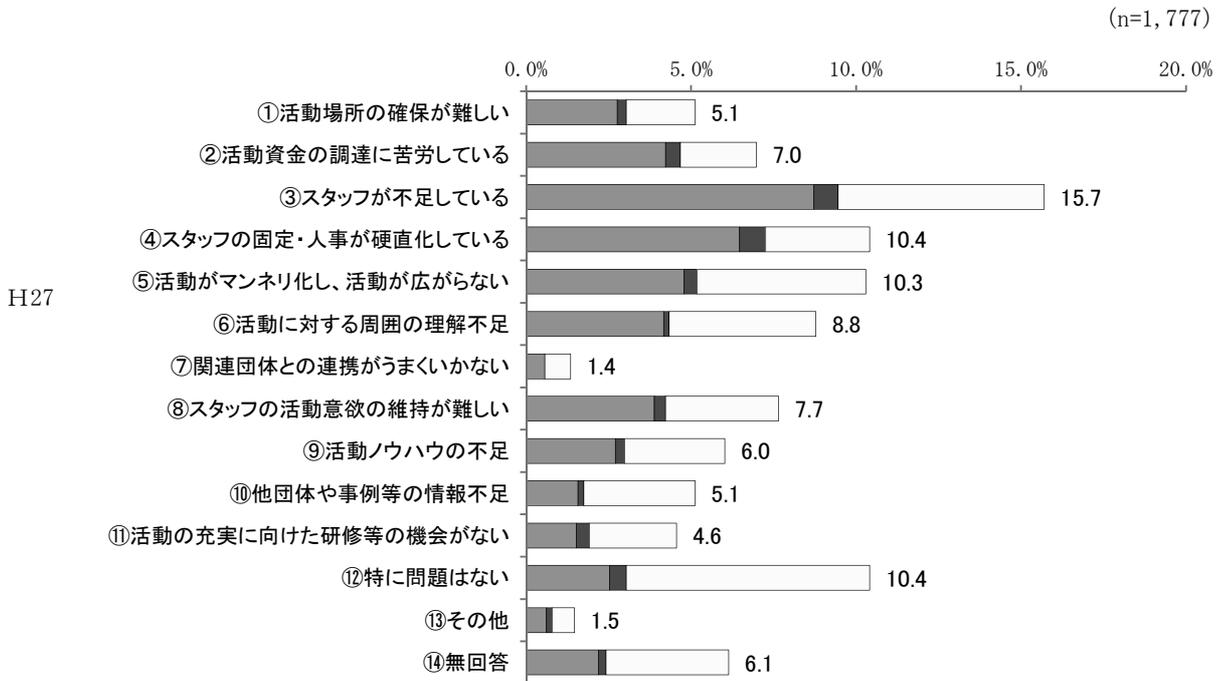
H24

他の団体や公共機関などと交流や協力して行っている活動については、「⑥高齢者の安否確認、話し相手、手紙など」と回答した割合が18.6%と最も高く、次いで「⑧高齢者への配食サービス」が11.8%となっています。

「22無回答」「⑦高齢者の居場所づくり」「⑭高齢者や障害者へのレクリエーション・スポーツ活動の支援」もやや高くおり、前回の調査結果とほぼ同様の結果となっています。

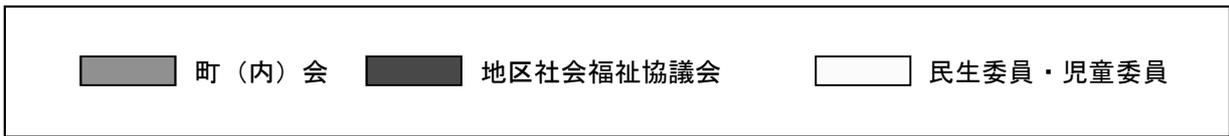


【問7】
貴団体の活動を行う（継続する）上での課題や問題点は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

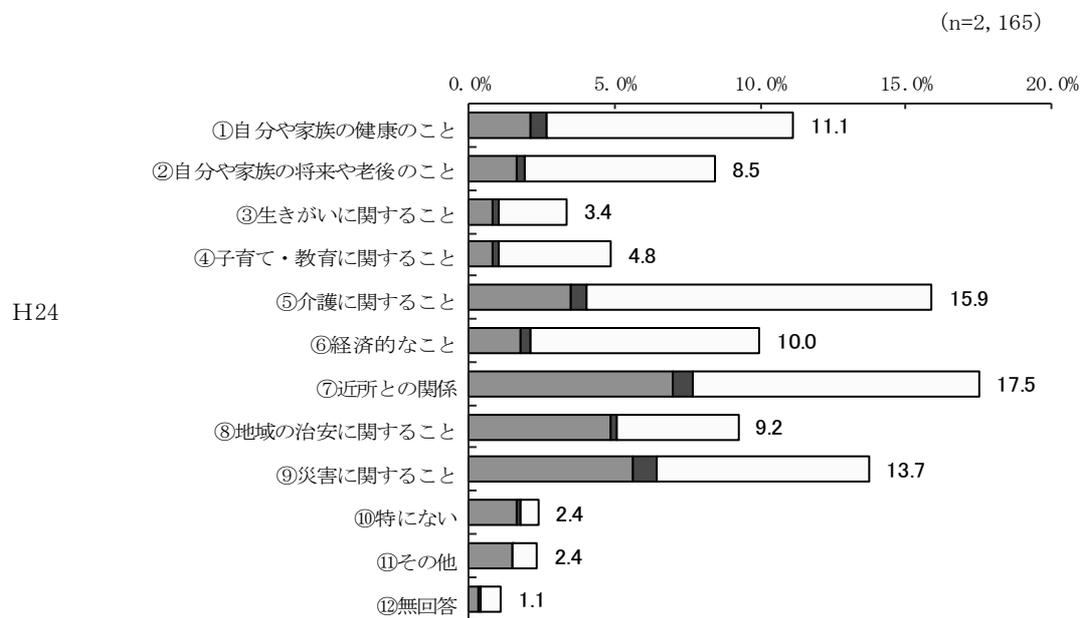
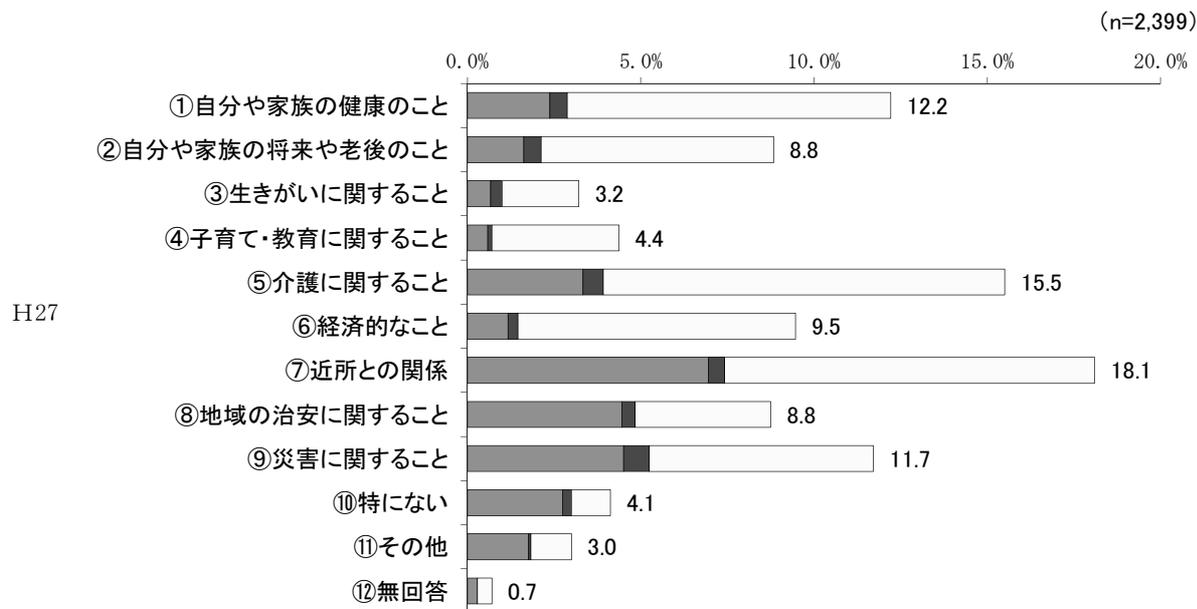


活動上の課題や問題点については、「③スタッフが不足している」と回答した割合が15.7%と最も高く、次いで「④スタッフの固定・人事が硬直化している」、「⑤活動がマンネリ化し、活動が広がらない」が高くなっています。前回の調査と比較すると、スタッフの固定化の割合が少し増加

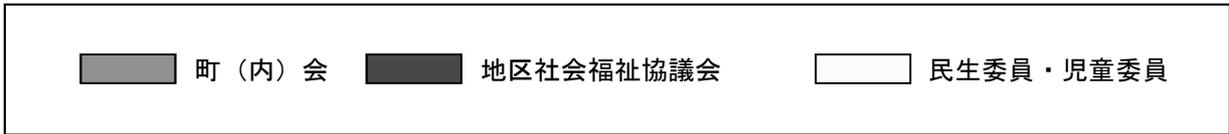
しています。



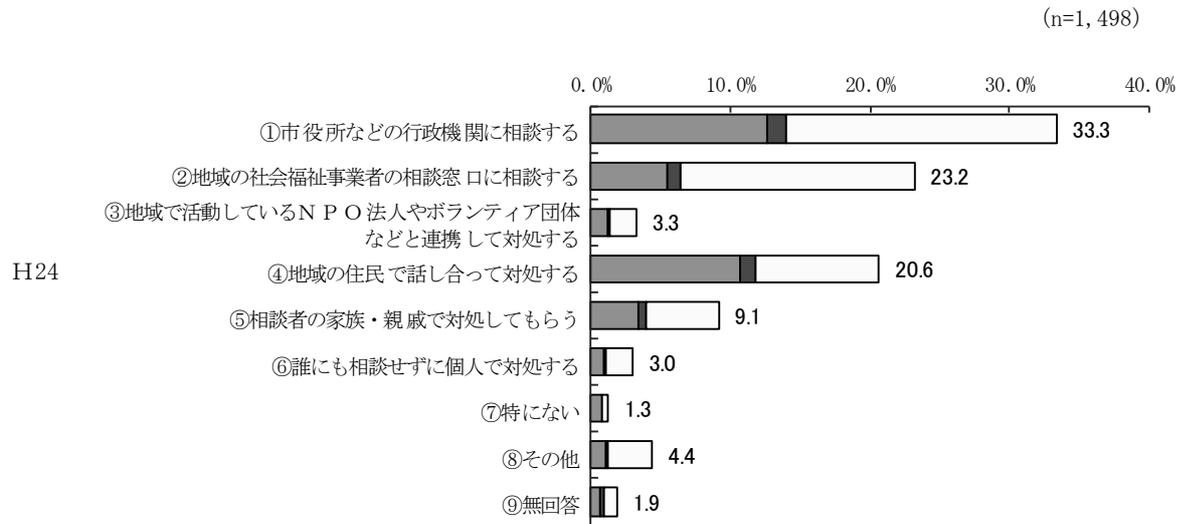
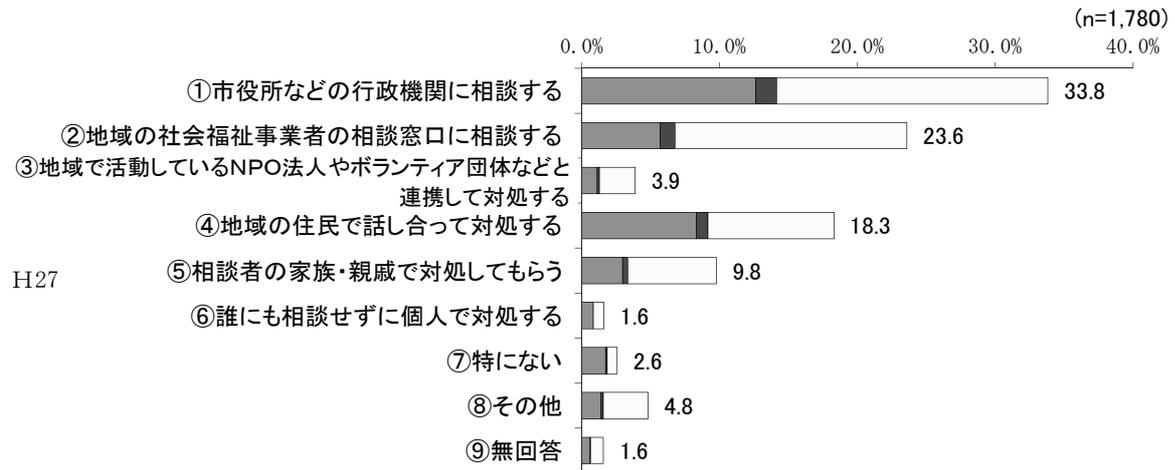
【問8】
貴団体は、地域の住民の方から、どのような内容の相談を受けたことがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



地域住民からの相談内容については、「⑦近所との関係」と回答した割合が18.1%と最も高く、次いで「⑤介護に关すること」が15.5%となっています。前回の調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

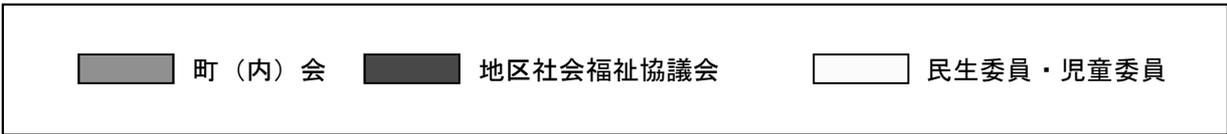


【問9】
貴団体は、地域の住民の方から相談を受けた場合、どのように対処していますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

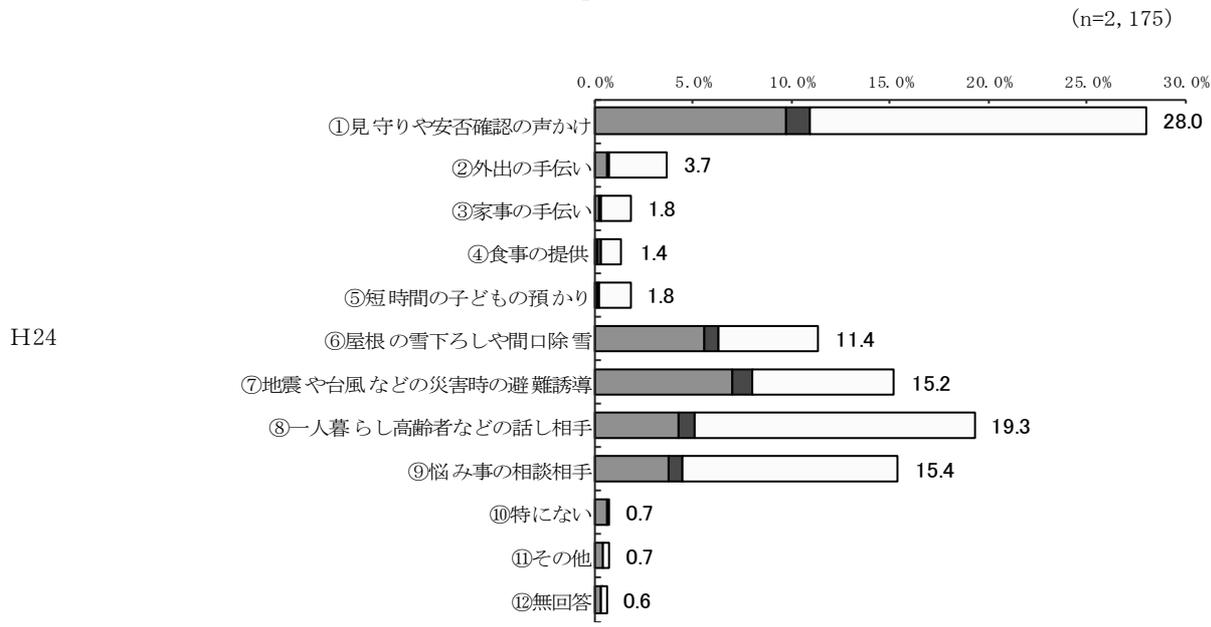
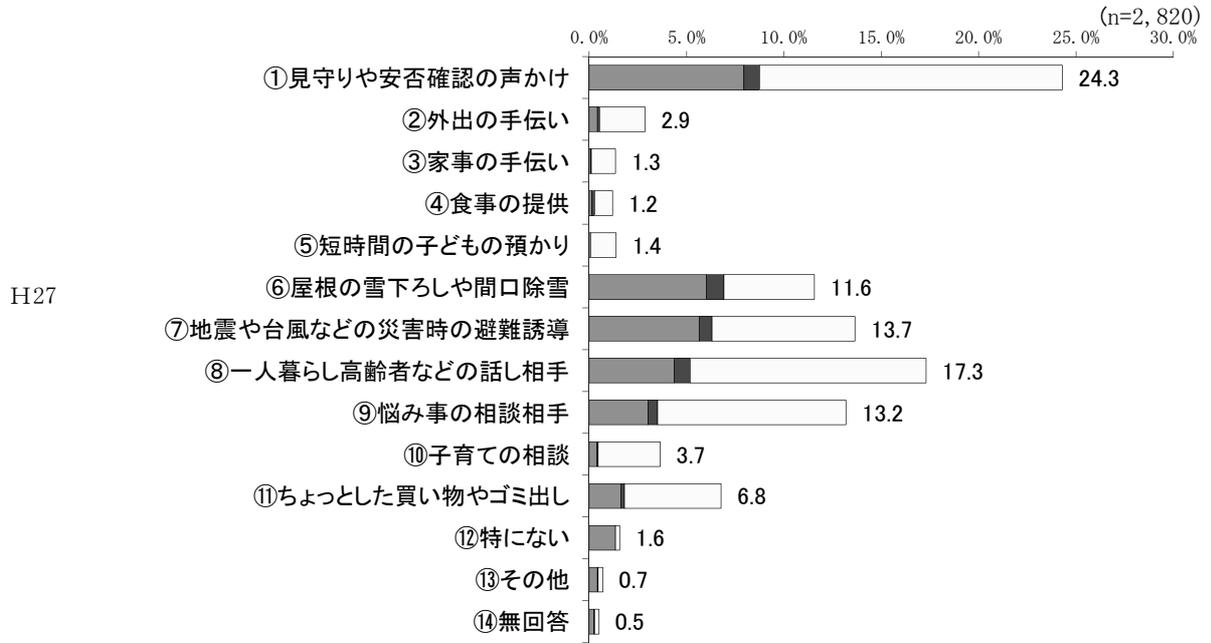


地域住民からの相談の対処については、「①市役所などの行政機関に相談する」と回答した割合が33.8%と最も高く、次いで「②地域の社会福祉事業者の相談窓口相談する」が23.6%となっています。

前回の調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっていますが、「④地域の住民で話し合っ解決する対処する」と回答した割合が低くなっています。



【問10】
 近所に、日々の生活において、支援を必要としている人がいた場合、貴団体はどのような手助けができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



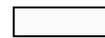
どのような手助けができるかについては、「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した割合が24.3%と最も高く、次いで「⑧一人暮らし高齢者などの話し相手」が17.3%となっています。前回の調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっていますが、回答の上位の項目の割合が低くなっています。



町(内)会



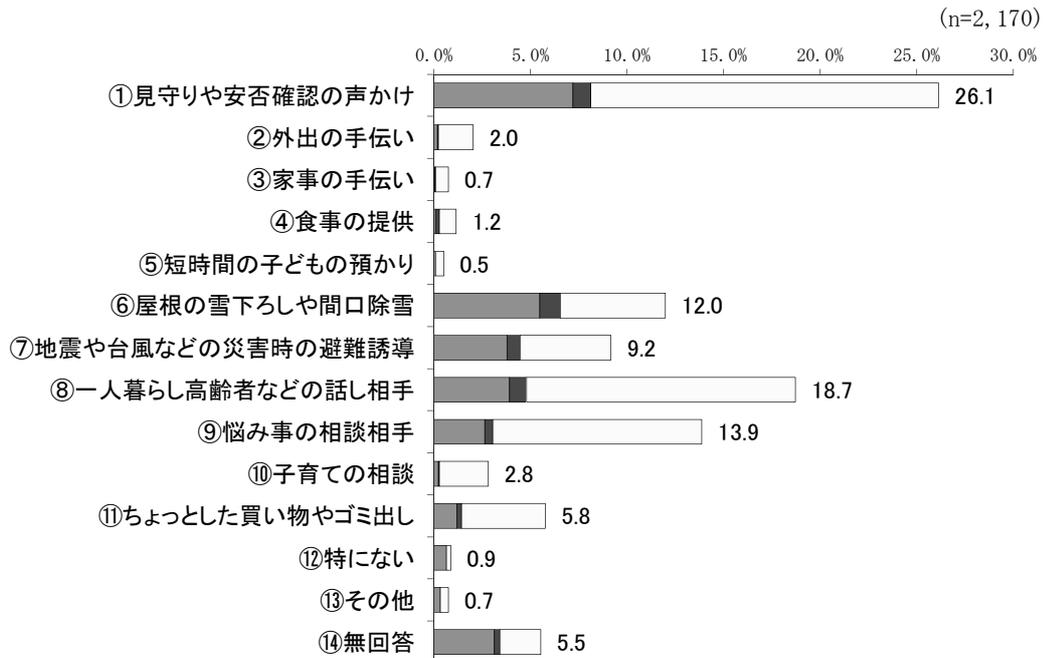
地区社会福祉協議会



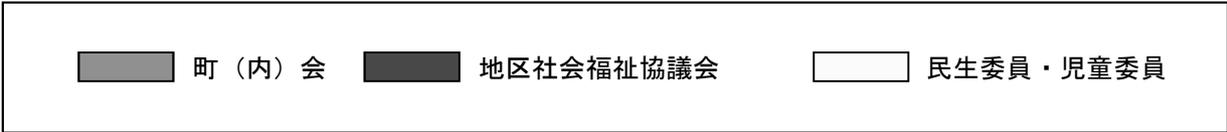
民生委員・児童委員

【問11】

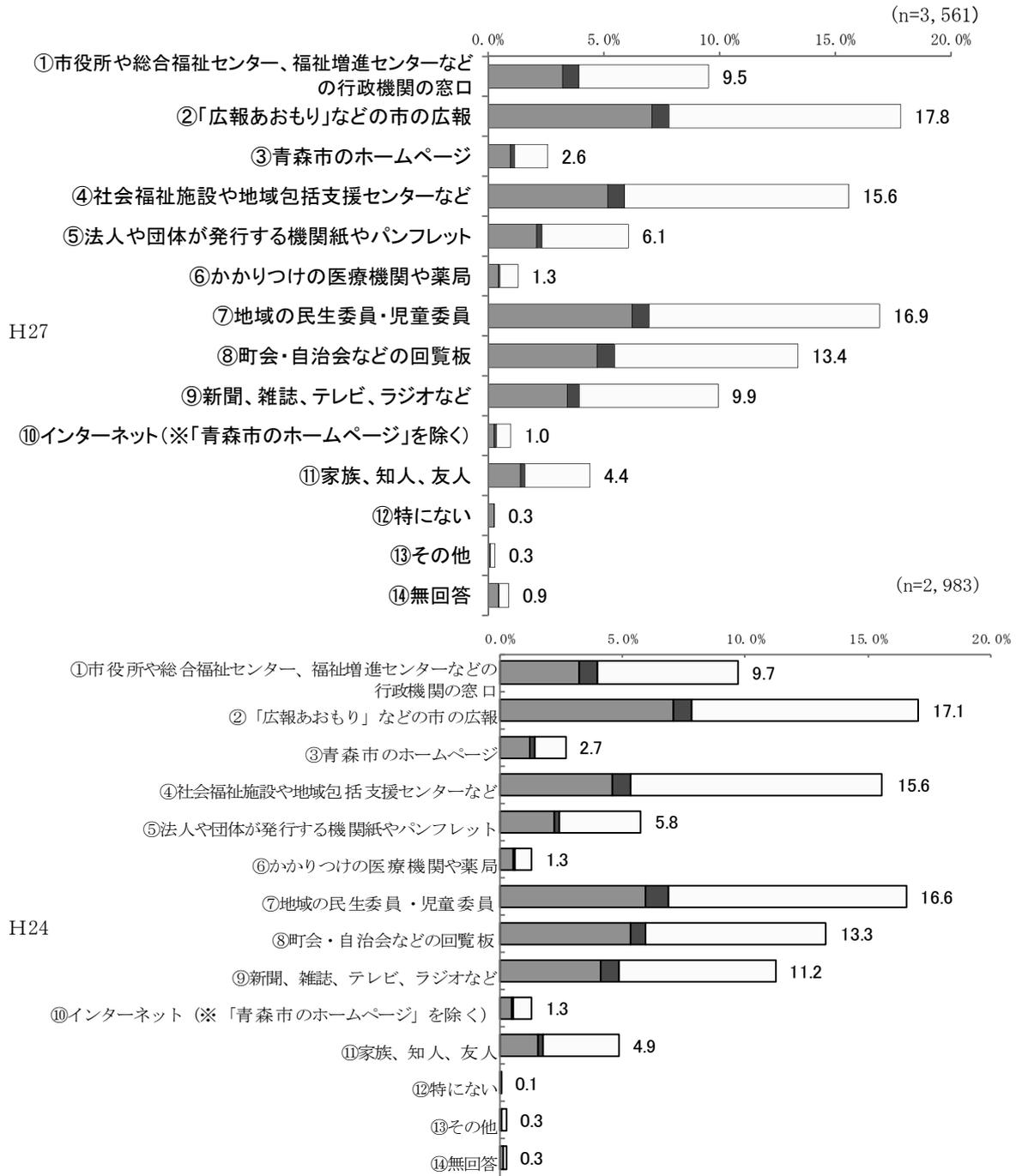
問10で近所の方に手助けが可能と答えた項目のうち、貴団体が実際に行っている手助けはどのようなものがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



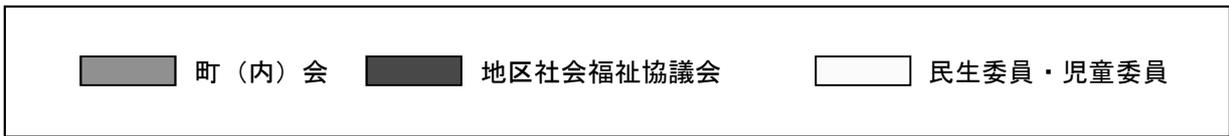
手助けが可能な支援のうち実際に行っている手助けについては、「①見守りや安否確認の声かけ」と答えた人の割合が最も高く26.1%となっており、次いで「⑧一人暮らし高齢者等の話し相手」が18.7%となっています。「⑨悩みごとの相談相手」も13.9%と回答の中では比較的高くなっています。(今回初調査)



【問12】
貴団体は、福祉サービスに関する情報をどのようにして入手していますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

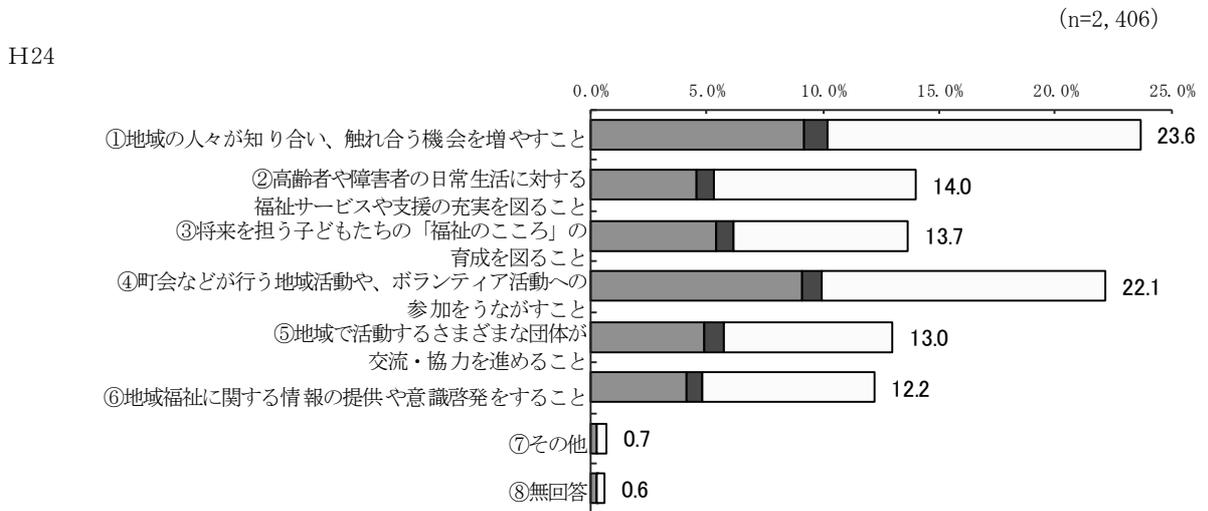
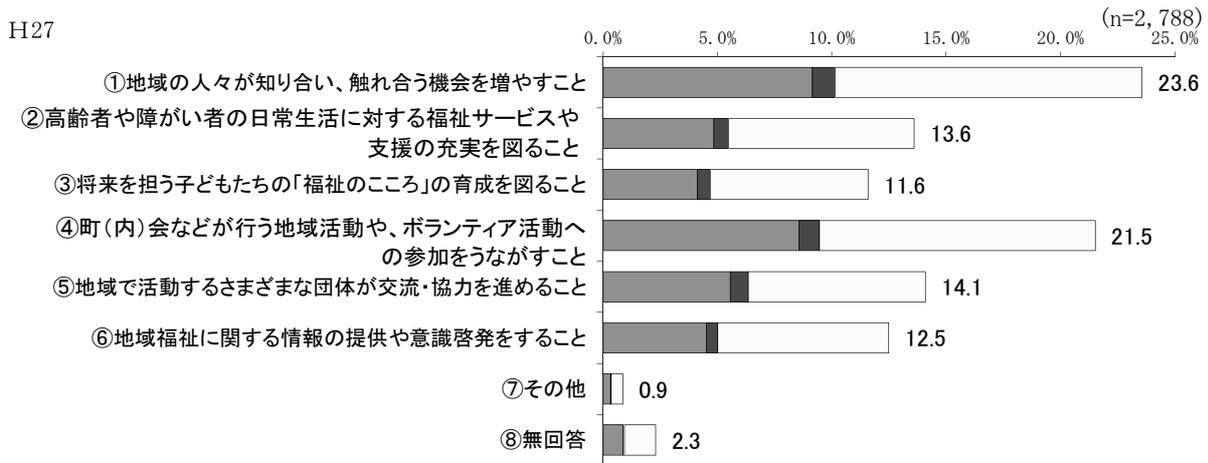


福祉サービス情報をどのように入手しているかについては、「②広報あおもりなどの市の広報」と回答した割合が17.8%と最も高く、次いで「⑦地域の民生委員・児童委員」が16.9%となっています。前回の調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

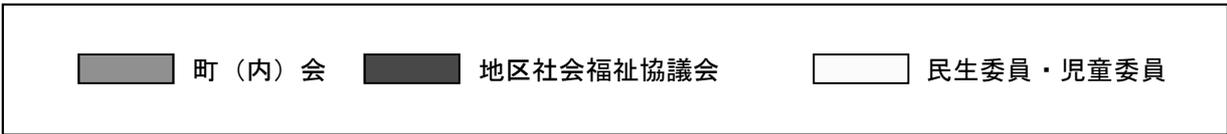


Ⅱ. 地域福祉に関するあなたの考えについて

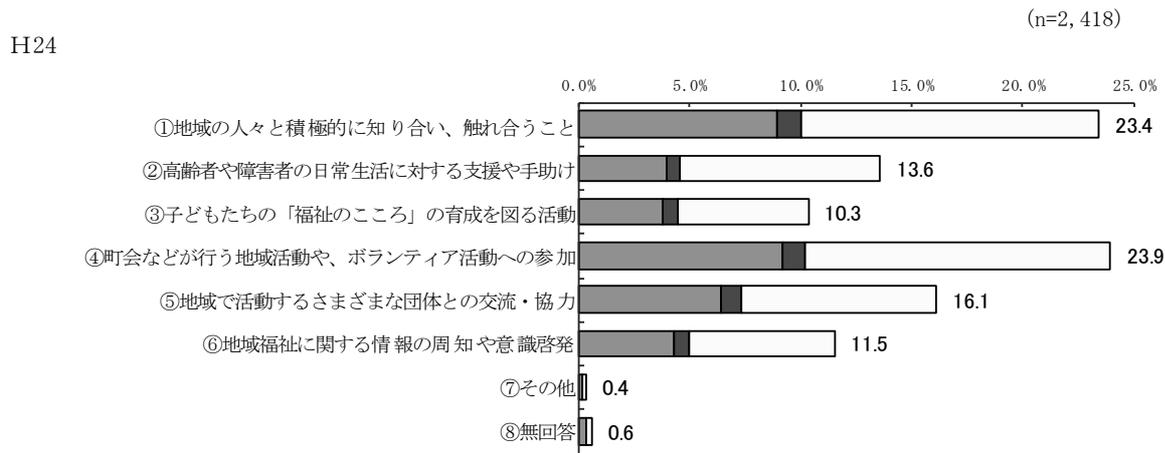
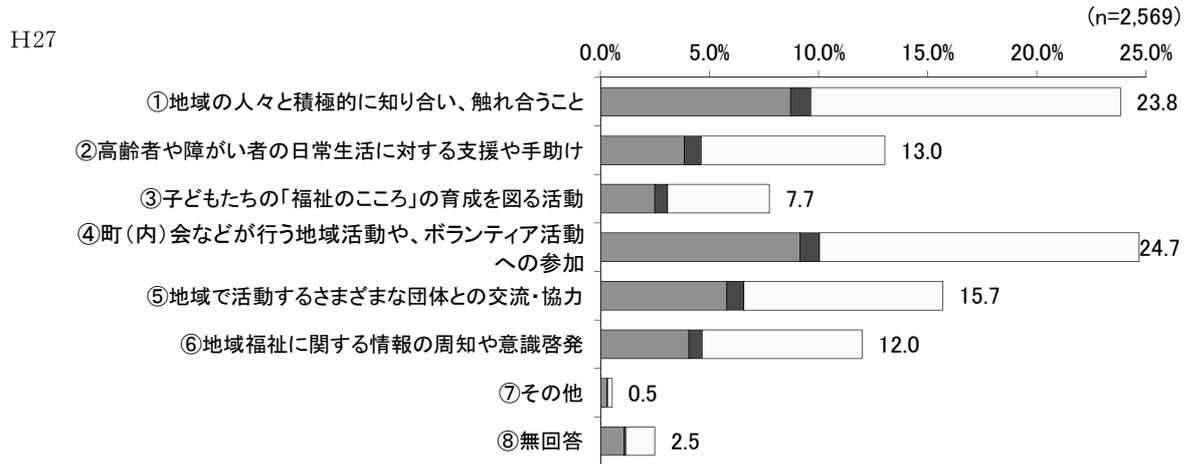
【問14】
 誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、貴団体は、どのような取組みが必要であると考えますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために必要な取組みについては、「①地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」と回答した割合が23.6%と最も高く、次いで「④町会などが行う地域活動や、ボランティア活動への参加をうながすこと」が21.5%となっており、前回の調査とほぼ同様の結果となりました。



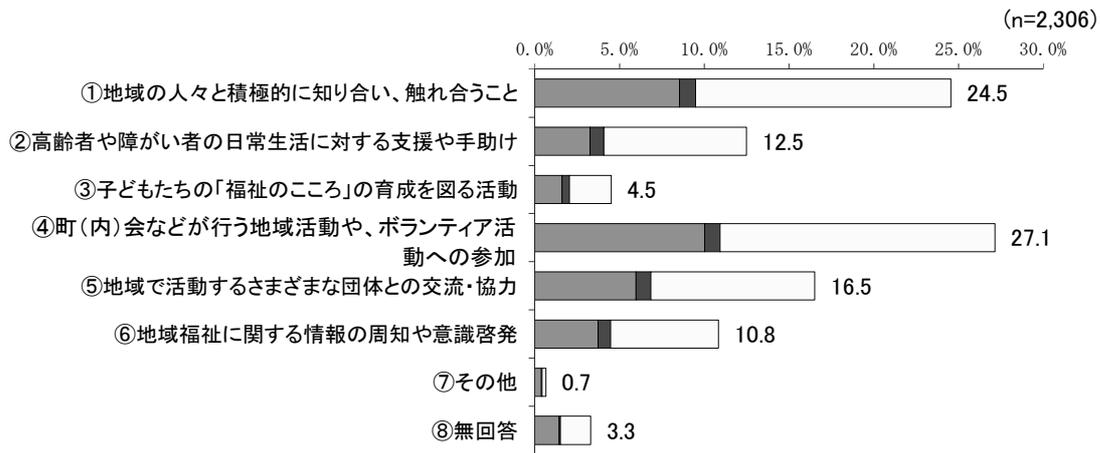
【問15】
 誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、貴団体は、どのようなことができますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



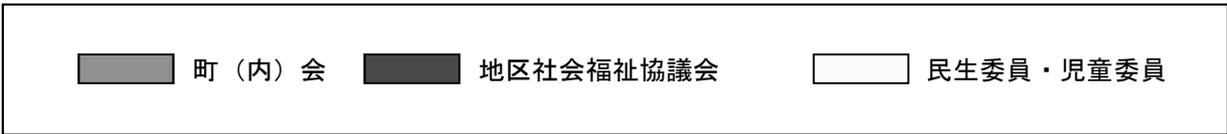
誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるためにできる取り組みについては、「④町会などが行う地域活動や、ボランティア活動への参加」と回答した割合が24.7%と最も高く、次いで「①地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」が23.8%となっており、前回の調査結果とほぼ同様の結果となりました。

町（内）会
 地区社会福祉協議会
 民生委員・児童委員

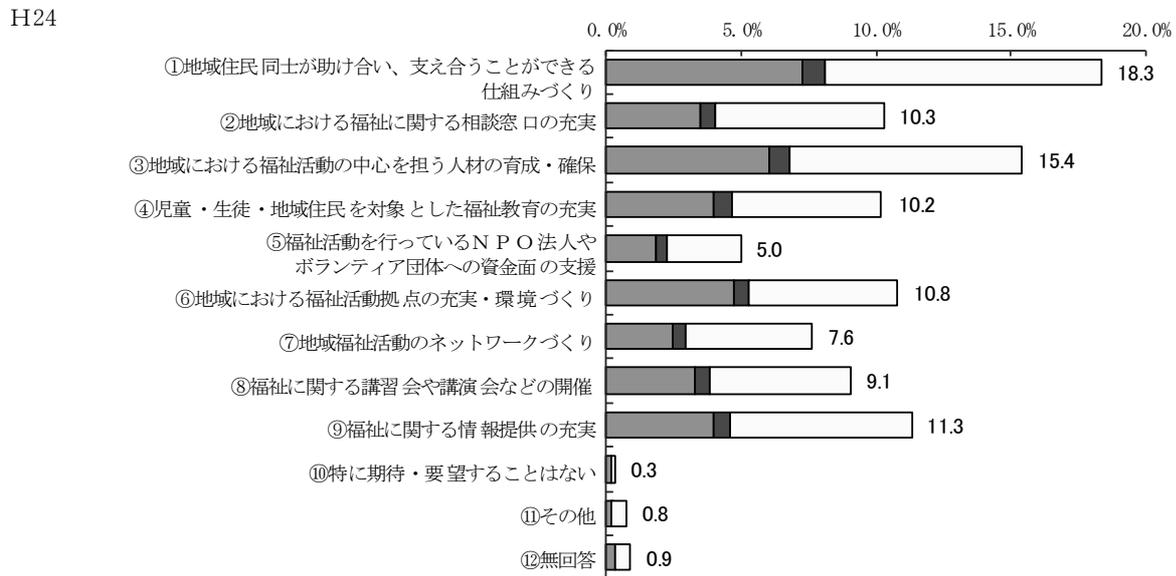
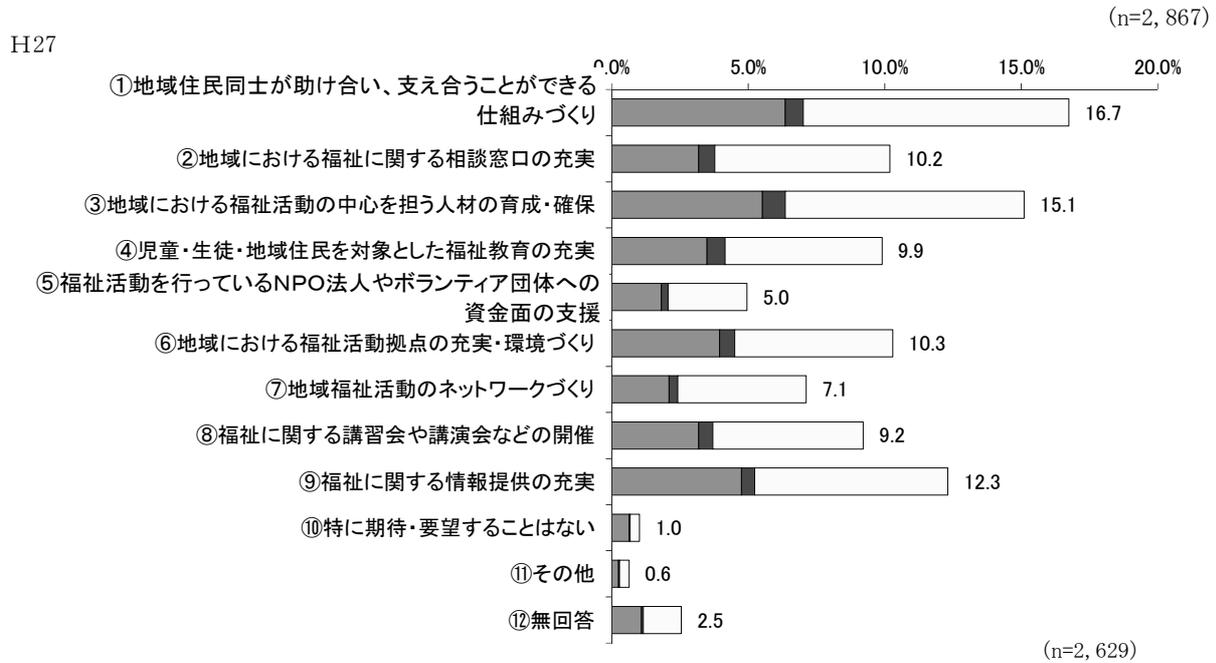
【問16】
 誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、貴団体が実際に行っていることは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために実際行っている取組みについては、「④町会などが行う地域活動や、ボランティア活動への参加」と回答した割合が27.1%と最も高く、次いで「①地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」が24.5%となっています（今回初調査）。



【問17】
貴団体は、地域福祉を進める上で、行政にどのようなことを期待・要望しますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



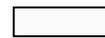
地域福祉を進める上で行政に期待・要望することについては、「①地域住民同士が助け合い、支え合うことができる仕組みづくり」と回答した割合が16.7%と最も高く、次いで「③地域における福祉活動の中心を担う人材の育成・確保」が15.1%となっています。
前回の調査と比較すると、ほぼ同様の結果となりました。



町（内）会



地区社会福祉協議会



民生委員・児童委員

【問13】

地域独自で取り組んでいる地域福祉に関する活動がありましたら、参考にさせていただきたいと考えておりますので、ご記入ください。（自由記載）

≪例≫ 「見守り・声かけ活動」「家事支援活動」「地域ふれあい交流活動」「健康づくり活動」など

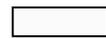
別紙参照



町（内）会



地区社会福祉協議会



民生委員・児童委員

【問18】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、貴団体の地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

別紙参照

《町会・地区社協・民生委員》

問13 自由記載

小学生の登下校の見守り。一人暮らし高齢者の給食支援。交通安全や防犯に対して協力見守り。
特になし
老人クラブを中心に声かけ運動。2ヶ月に一度一人暮らし巡回している。
月1回町内ごみひろい。地域ふれあい交流活動として、夏は盆踊り大会、暮は、もちつき大会など行っている。
見守り、声かけ活動、いきいきサロン、敬老会、老人給食ほのぼの交流。
一人暮らし、高齢者世帯のご近所の方含めて見守り、声がけしている。
・給食サービス・夏祭の協力・見守り声かけ活動・保育園への金魚ねぶた作り
もちつき。こどもさんとおじいちゃん、おばあちゃん、ママ、パパ、小さい杵で餅を希望者は並んでペタンペタンと仕上がり、つきたてをおしるこ、きなこ、雑煮と皆さんで食べながら話す人、遊ぶ人、それを見てそれぞれに楽しんでいるようです。
子育て支援のグループ「わらしっこの会」というのに所属。年3回の「親子で遊ぼう」という乳児対象の母子の集いに参加。4ヶ月児検診のサポート。
町会と一緒に見守り、声かけ活動を行っている。
高齢者給食事業、心の縁側作り、いきいきサロン、水辺サポーター、まちづくり協議会、地区社協主催防災訓練
地域ふれあい交流活動
独自の取り組みはないが、定期的な訪問、見回り等は続けるようにしています。
近所の人、特に子供ら、高齢者には、こっちから声かけをしている。
一人暮らし高齢者給食会の実施、声がけ訪問に活動しています。
見守り、声かけ、町内会への誘い。
登下校時、小・中学生交通見守り(朝6:30~7:30迄)
・健康づくり活動・見守り声かけ活動
町内の花壇作りに声がけしたり毎月一掃き日を決め町内をきれいにしています。夏休みはラジオ体操、子供達と一緒に大人も行ってます。
地域内の町会役員皆で、見守り・声かけ活動をする様にしている。悩み事等のある人を見かけたら知らせてもらう様に地域の人々に声がけしている。
地域での高齢者に見守り、声がけ活動、そして1人暮らし給食、こころの縁側等を実施しています。
地域交流で輪踊りの会を開いておりますが、若い方で58才、高齢者で86才の方が入っていますが、踊る場所が狭く、ぶつかり合って踊っていますが皆いきいきして楽しく踊って居ます。
見守り、声がけ活動
・町内会の健康教室への参加。健康寿命を延ばす。・独居老人への「見守り、声かけ」「健康づくり活動」
海岸、防波堤のゴミ清掃。見守り、声かけ活動。
75才以上の一人暮らしの方との月一度の昼食会の時、地域包括センターの方との血圧測定、タオル体

操等、又各町内会の独自での楽しみ方等を工夫しています。
1人暮らしの高齢者と月1回の会食回(第1水曜日)→(8月と1月は除く)
長寿会(老人クラブ)、子供の絵を読み聞かせの会の結成(ひまわりの会)
一人暮らしの高齢者宅を近況伺う為、訪問し声かけ、見守り、相談にのっています。信頼関係保てたらと思っています。
「見守り、声かけ」を行っておりますが年々一人暮らしが増加して地域で支えないとだめだと思っています。
月1回、一人暮らし高齢者との食事会時に、交流活動をしている。
見守り・挨拶活動
別にありません。国主導の地域包括ケアにこのアンケートを生かして下さい。現場の人間の声を聞く場を設けて下さい。そしていろいろな活動について議論をしていけたらと思います。机上の話ではなく現場の声を聞いて下さい。
見守り、声かけ活動。一人暮らしの方の食事会誘い。小学校下校時声かけ「週11回」
毎月第3金曜日に健康、手芸、体操などを行っている。出席するのは10~15人位でもう少し参加してくれたらと思っています。(同じ人ばかりの参加)
見守り、地域ふれあい交流活動
防災の避難対策。敬老会の催し。
地域ふれあい交流活動「心の縁側づくり」毎月1回行う。「ほのぼの交流会」
・登下校の見守り隊・一人暮らし高齢者に月1回のお食事会・赤ちゃん誕生のお祝い会・小学校社会科見学のつきそい・児童館の餅つき会手伝い・町会のラジオ体操参加
高齢者宅に定期的に訪問し元気でいるか心配な事はないか健康状態はどうか、話を聞いています。
一人暮らしの高齢者の昼食会。
「にこやか快食会」75才以上の一人暮らしの人を対象としている。昼食会:年10回(1月、8月は休み)
①見守り、声かけ活動(定期的に一人暮らしの老人宅を訪問) ②月1回のランチを提供(社協)
一人暮らし高齢者宅への訪問・安否確認・給食会へのお誘い及び開催協力。高齢者世帯宅への訪問、安否確認「ちょこっと袋」の準備及び配布(一人暮らしも含む)。地域(学校)懇談会出席、入学式、卒業式、運動会への出席。民児協主催敬老会への協力、民児協主催日帰りレクへの参加及び協力。歩道、公園等の清掃活動、町内会レク等への参加及び協力。赤い羽根募金活動、日赤会員募集活動への参加及び協力。
地域の高齢者の方の交通指導等、信号を通らないで道路を横切って通行する方等。
沖館川を綺麗にする活動、除草。一人暮らしの食事会での内容の充実。(地域の幼稚園、保育園、警察、小中学校の協力があります)
見守り、声掛け、町会レクリエーション参加、夏の子供会ラジオ体操、町会高齢者食事会参加。
・町内の夏祭り・地域の給食サービス・見守り、声かけ
福祉館を利用して一人暮らし高齢者達と月1回食事を兼ねた触れ合い交流をしている。
(地域ふれあい交流活動)月1回、自由参加で地域の福祉館にてカラオケ講座に先月より取り組みしております。
小学校の夏祭り、餅つき、敬老会をホテルで盛大に行っている(本人からの費用貰っていない)。町内の

夏祭り(盛大に行っている)。巡回活動。
町会、健康教室、介護に関する事の勉強会。
見守り、声かけ活動、家族支援活動。
・高齢者への見守り、声かけ ・一人暮らしへの月一度の食事(弁当)提供、訪問 ・敬老会の開催(高齢者) ・子供会の綱引き大会の協力 ・幼稚園、小、中、養への運動会、学習発表会への出席
・文庫開設(町内会館にて)ゆめ文庫 木・土曜日 10:00~13:00 本の貸出し。・子育てふれあい広場 毎週木曜日町内会館ホールを開放 10:00~13:00 就学前の子供と保護者が利用(無料) 毎月第1木曜日は「ぬくぬくおはなし会」を 11:00~11:30 頃まで。
毎週月曜日小学校の声かけ運動に参加しています。
地区社会福祉協議会による見守りや安否確認の声かけや間口の除雪。国、県、市による農地の多面的機能支払交付金活動への参加で地域の経済に寄与。
町会や老人クラブによる「健康づくり活動」
・子育て広場・一人暮らしの高齢者への月1回食事会・町会の防災訓練・地域ふれあい交流会(トランプ大会など)・町会盆踊り大会(大人の部、子供の部)・年2回の町内清掃活動・町会日帰り旅行
イ.見守り、声かけ活動 ロ.一人暮らし高齢者給食会 ハ.地域ふれあい交流活動(町会祭り) ニ.日帰り旅行会
健康づくり活動で体操、塩分チェック、食生活改善等。
老人クラブを設立して月1回の定期的な会合を開催している。
・子供達の見守りを行えない、毎日学校まで一緒に行っています。・高齢者達に月二回食事等のお世話をしています。・子供会で行事があれば協力しています。
子育て事業として地域の小学校の生徒及び父母との交流をし不登校非行防止を図る為、夏には小学校PTAの方々と一緒に夏祭りの開催(学校の校庭)、冬には同様の方々と餅つき会の開催をし当会と父母とPTAの関係をスムーズにいくよう活躍している。
町(内)会や地域内で情報交換や共有をしている。また、見守りや安否確認はお隣同士で意識してもらう事で、何かあったら助け合う事に繋がっている。
見守り、声かけ活動。
平成26年8月より、こころの縁側づくりの事で「おおのふれあい広場」を開催し毎月1回、内容は健康診断、体操、ゲーム、講習会、講演等幅広く活動している。毎月60名~70名の参加があり盛り上がっています。今年度も継続しております。(大野地区社会福祉協議会主催)町会、地区社協で防災訓練の実施。
高齢者へのふれあい訪問。
・町会の行事に多数の参加者が来所する。特に老人会は「毎月」集会の集いを行い、参加する方を通じて、特に老人の安否確認をする事に心がけています。・市、警察、消防、中学校、小学校、町会連、民生委員、その他全部の回覧を每户配布する事にしており、町会を経由して情報を提供している。
月1回の高齢者の食事会(ふれあい交流)
地域住民の高齢化が進んでいる事からお互いに声を掛け合って、孤立しないように心がけている。
・給食サービス・見守り、声かけ・餅つき(小学校で教え子の餅つき大会を開き、あんこ入りの餅を作ってもらったり、おしるこ・雑煮を食べてもらっている。※今年だけ中止)・夏祭り(小学校の夏祭りに

<p>参加し民生委員のブース(テント2はり)をもうけ、金魚ねぶた作りを親子に教えたり、おでんを売り、売り上げを学校に寄付している)・保育園との交流(金魚ねぶたを作り持って行き、一人暮らしの方々も連れ、園児と交流)</p>
<p>1.一人暮らし高齢者給食サービス事業への協力 2.こころの縁側ふれあいサロン石江への協力 3.地区防災会への事業に対する協力 4.敬老会行事への協力 5.協同募金運動への協力 6.福祉の雪対策事業への協力</p>
<p>その都度、逢った時に声がけ。</p>
<p>高齢者との一日旅行。子供会の活動。</p>
<p>・手作り食事会 月1回、年8回一人暮らしの方へ昼食を手作りしています。(会場の都合で弁当あり)頭の体操や歌など毎月1時間位交流活動もしています。・地域いきいきサロン 一人暮らしに限らず皆で楽しんでいます。(毎月1回)</p>
<p>見守り、声かけ活動等。</p>
<p>・こころの縁側事業(いきいきサロン)の開催。この事業を通じて安否確認、講話を通じての健康づくり、食生活改善などを行っています。近隣町会との連携を図って行っています。</p>
<p>県の声かけリーダーをしている関係上、小学生、中学生などへ朝、登校時、下校時など声かけしています。</p>
<p>安否確認、見守りは近所の方へ協力をお願いしています。</p>
<p>(朝の通学時)見守り、声かけ活動。町内会の公園の草取り。夏休みのラジオ体操。ゴミ出し指導。</p>
<p>民生委員を個別にお話をしたいと願っている方が多く、どちらかで立ち話ではなくお話出来る場所が望ましいです。</p>
<p>見守り、声かけ、ふれあい交流、健康づくり。</p>
<p>町内会の各団体で行事の中に学習会を設け、包括支援センターの方に講話をお願いしております。</p>
<p>毎月1回2人ペアで一人暮らし、高齢者宅へ見守り、声かけ活動訪問をしています。終わったら集まり状況報告をし次回へ繋がります。</p>
<p>月に一度、老人クラブの女性部だけで集会を開いている。その時、包括支援センターの方にお世話になる事が多い。</p>
<p>見守り・声かけ活動</p>
<p>町会、市民センター分館等で学童の登下校時の見守り、声かけ運動を実施しており、子供達の見守りを行っていますが子供達の「挨拶」がとても良くなってきました。</p>
<p>見守り、声かけ活動。小学校の夏祭りに参加、協力。一人暮らしの方々への給食サービス。</p>
<p>見守り、声かけ、地域ふれあい交流</p>
<p>安否確認の声がけ。一人暮らしの除雪。小、中学生への声がけ、見守り。</p>
<p>地域ふれあい交流(一人暮らしや家から出かける事が少ない老人をなるべく外へ出てもらう事を考え、月2回ゲーム、スポーツ、講師を頼んで何かの作業等をやっている)老人クラブも頑張っている事は大変良い事だと思っている。</p>
<p>筒井地区のはまなす会(一人暮らしのお食事会)へ保健大学の学生がボランティアで短時間ですが交流を深める為に年二回程参加して頂いております。とても良い交流活動だと思います。</p>
<p>見守り、声かけ活動</p>

ねぶた祭り、神社祭り。
児童の帰校時に学区の巡回と声かけ運動。高齢者の安否情報の収集。地域ふれあい交流活動、地域の氏神神社の境内清掃。
見守り、声かけ活動、健康づくり活動です。地域ふれあい交流活動。
町会との連携により、婦人の活動支援を計っていきたい。婦人部が活発になれば町会活動も元気が出てくる。民生委員としては、見守り活動に欠かせない情報源ともなるものと思う。
見守り声かけはやっております。5月は高齢者の居場所作りとして、7月頃試みとして1度やる予定です。
子供会の活動が活発でなくなっていたので、世代を超えて色々な体験をして災害時でも一人で生きて行ける事を目指したいと思っている。
毎月第4日曜日老人クラブの日を設け、ふれあい交流活動、健康作り、布巾作り、雑巾作りをして保育園、小学校へ差し上げております。ねぶた、盆踊り、夏休み行事、見守り声かけ活動をしております。6月から老人クラブでみんな同じ食事を作り、毎月実行したいと考えております。
久須志地区 10 町会の地域ふれあい交流活動の一環として一人暮らし高齢者の給食会を実施しています。
地域独自で活動している事は余り無いように思います。独自で行動している事は、それぞれの民生委員に従って異なると思います。「見守り、声かけ」「食事提供」「月一の食事会でのふれあい」等です。
一人暮らしの給食。
老人クラブ(清掃活動、ラジオ体操、座談会と食事会)
あまり家族、利用者と深く接せず、公平な立場で対応致しています。
地域ふれあい活動の一環になると思います。運動会、ビアガーデン(夏祭り)公民館祭り等。
・いきいきサロン(地域交流活動としてお茶飲み会)・見守り、声かけ運動。
・民生委員をしていますので、見守り、声かけは常にしております。・1回の一人暮らし高齢者の食事会の案内、協力。・地域の高齢者の入っている会に入り、旅行、活動があった場合、なるべく出席し触れ合うよう努めています。
見守り、声かけ活動。
地域としてはありませんが、私個人としてはほのぼのの活動と一緒に週1回(土曜日の午前9時頃)担当地域を散歩し見守り、声かけ活動をしています。10年以上続けていると地域の人達に顔を知って頂き「新聞がたまっている」「カーテンが開けてない」他いろいろな情報を地域の皆さんが知らせてくれるようになっています。
中学校の下校時の生徒の様子等を学校の周辺や近くのコンビニ、商店等で遊んでいないか委員数人で見回りしています。(見守りです)
見守り、声かけ活動。地域ふれあい交流活動。
一人での見回りは良くないと聞き、今1つ動きが鈍くなってしまった様に思われます。私は月に一度の一人暮らしのお食事会を手伝う程度しかしていません。何か申し訳ないかなと思っています。
自主防災訓練、地域ふれあい交流活動。
見守り、声かけ活動。
新入学児童の下校時の見守り、指導。

見守り、声かけ。
「見守り、声かけ活動」「町民会館を利用した交流活動(詩吟、トランプ大会等)(体操教室)」「健康教室(月1回)」地域パトロール(週1~2回)
団地の管理人をやっていますので(見守り声かけ活動)で地域でのコミュニケーションを計りたいと思っております。
高齢者健康づくり活動地域ふれあい交流活動ラジオ体操、盆踊り練習などやっております。霊園の花のお手入れ草取り)
・高齢者に対する訪問、声かけ活動は毎月実施している。・健康づくりに関しては近くの公園で春から秋にかけて朝6:30分からのラジオ体操を行っている。又月一回、体操後、朝食会をしています。
・町会が主催する新年会、特に盆踊り大会には子供達から高齢者まで幅広く参加してくれるので、声かけや交流の場として助かっている。・長寿会婦人部では月1回の親睦会を行っているので、それぞれの話題提供があったり情報交換が出来るので続けて活動をし、見守って行きたい。参加者は約10~15人。
見守り、声かけ活動、なごみ会、心の縁側。
小学校での夏祭り参加(地域ふれあい交流活動として)
見守り声かけ活動。
問13例の4すべて実施している。又防犯活動をしており、情報を得る事が出来ます。
・見守り、声かけ・・・通りすがりに挨拶したり話相手してやると、とても喜んでくれます。困っている事とか、お医者さんの治療様子や身体の事、家族の事、友達の事など・・・・地域ふれあい交流活動・・・社協の心の縁側などで歌指導や親子であそぼ!!みんなおいでと一緒に遊んでやる。・町会主催運動会に出席して盛り上げています。※独自で取り組んでいる主催ではなくて協力面です。
町会の行事等に参加、協力。対象者一人暮らし高齢者世帯の見守り声かけ。包括支援センターとの連携した支援。
高齢者の方を多く見かけるので、なるべく声をかけてお話を聞くようにしています。(隣近所と仲良くするように)
特に取り組んでいる事はないです。
登下校児童の見守り声かけ運動。
古川三丁目第一町会では女性部の活動が活発で花植え、野菜植え、おしゃべり会等毎年定例的におこなっている。集まる方が高齢化していますので、そこがお互いの心身の健康に貢献していることが多い。
心の縁側づくり月に2回行って1.健康づくり体操 2.血圧測定 3.手先を使う折り紙ブロック等。
防犯パトロール巡回協力。地区防犯交通安全パレード参加協力。
・一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯の友愛訪問。・65才以上の高齢者の「こころの縁側づくり」事業による。・毎月1回のいきいきサロン開催他
町会で健康教室月2回・・・病気の研修と健康づくり等※その他、認知症サポーター研修、救命コース90分(消防署)実施
現在一人暮らしの高齢者が日増しに身近に多くなり、追いつきません。私は協力員の方の協力を借りながら、感謝しています。

<p>当地では"ほのぼのの交流員"と云う人達が各町内ごとに2~3名位いて、その方々が近所の変化を一早く民生委員に知らせてくれるので大変助かっています。例えば冬場になると一人暮らしの方が娘さんの所に春まで行って来ると云っていたと云う様な事。</p>
<p>一人暮らしの食事会。小学校の夏祭り(PTA 主催のお祭りで民生委員の人達がおでんを作って出店している)</p>
<p>見守り声かけ活動。月1日の会事会。</p>
<p>ふれあい活動、声がけ。</p>
<p>見守り、安否確認の声かけ活動。子供見守りパトロール、高齢者ふれあい交流。</p>
<p>「こころの縁側づくり」大野ふれあい広場で「健康づくり活動」ラジオ体操、血圧・体脂肪・尿検査、踊り、輪投げ等。大野社協。町会健康教室 血圧・体脂肪・尿検査。セラバンドを使った体操。講師を招き勉強会など。</p>
<p>一人暮らし高齢者への毎月1回レクリエーション(外出し市民センターでおしゃべり、悩み相談、食事(昼食)、演芸鑑賞等)交流活動実施しています。</p>
<p>地域での運動会・夏祭り・冬祭り等での交流、又老人クラブも軽スポーツ等で頑張っています。</p>
<p>地域ふれあい交流活動。健康づくり活動。</p>
<p>高齢者の「健康づくり活動」として毎月近くの稲荷神社境内でラジオ体操を行っています。地域内の小学校の登下校の「見守り、声がけ活動」を行っています。</p>
<p>見守り、安否確認活動。一人暮らし高齢者の給食活動。</p>
<p>防犯パトロール。公園、遊具の点検。一人暮らし給食会時の健康相談や血圧測定。小学校での親子餅つき。小学校での夏祭りの協賛。</p>
<p>給食サービス(月1回の1人暮らしの高齢者の方の手作りお弁当のお手伝い)</p>
<p>年に2~3回地域包括支援センターの方、町会長、民生委員との話し合いの時間を設けてます。地域包括支援センターで把握している事と町会で把握している事を照らし合わせて見守りしたり施設入所とかデイサービス利用、安心電話利用につなげてます。また地域包括支援センターの協力のもと健康講座等、年に数回町会で勉強会を実施しております。</p>
<p>町会老人クラブの手伝い。</p>
<p>私は三内に住んでいます。「三内を元気にする会」に参加して週二回の沖館リバーランド周辺や三内小・三内中・三内第一町会の道路等のゴミを拾って歩いています。子供達、歩いている人、テニスをしている方々に声がけをして笑顔を楽しんでいます。</p>
<p>会う機会とか少ないので挨拶と声かけの活動を積極的に行うようにしています。</p>
<p>見守り、声がけ活動、個人的な相談事。</p>
<p>夏休みのラジオ体操。町会夏祭り。月一回、ゲームおしゃべりの日、婦人会でやっている。月一回、歌の広場を町会でやっている。月二回、子育て広場(0~3才まで)町会でやっている。</p>
<p>一人暮らし高齢者、月1回給食会。</p>
<p>月1回、2時間位(おしゃべりサロン)民生委員が中心になり、お茶で地域包括支援センターに協力してもらい健康の話、血圧、その後ゲーム、歌を皆で歌う。人数20~25人位。</p>
<p>なごみ会月1度の食事会です(一人暮らしの方)地域ふれあい交流活動は年に何回かいきいきサロン、ゲームをしたり、歌を歌ったりした後にお弁当を食べてと言う事を行っています。</p>

<p>・町内でも若い方達が少なく、高齢者が多いので普段から日常的に、お隣さん同志声かけが必要だと話し合っています。そして、お隣さんは大丈夫かな?」と思いやる事が大切だと話しあっています。回覧板で見てもらってます。・夏休み期間を利用して、朝のラジオ体操(町内で2週間)</p>
<p>新入学時、小学校にて朝の挨拶運動。中学校巡回見回り。高齢者食事作りサービス。</p>
<p>小学校の本の読みきかせ。見守り、声かけ活動。ねぶた作成運行。</p>
<p>小学校の下校時、低学年の見守りパトロールを月曜日から金曜日まで行っている。</p>
<p>見守り、声かけ活動。</p>
<p>ふれあい昼食会、地域ふれあい交流活動。</p>
<p>小学校が近くにあり、子供達、又高齢者には、見守り、声かけを重点的に実施していきたい。</p>
<p>特にナシ</p>
<p>高齢者の健康づくりのために毎週2回卓球10名ぐらいとゲートボールの会を週1回で参加者から近所の高齢者等の状況を話し合う。</p>
<p>見守り、声かけはするようにしている。特に一人暮らしと二人だけの老夫婦、又老人の居る宅へ(民生委員としては当たり前行動ですが…)</p>
<p>該当する枠外にも多少の巾を設けて行く指導方法によりもう少し別の視点からも行政の目が届く事に繋がると思います。団体的に申しますと、行政サービスの枠を広げた場合に(年々)今までに無い物が見えて来て活動状況の視野が広がって行く様な気がします。もしかしたら金のかかる事業企画に繋がる事も有り得ると思います。マイナス面も出る事でしょうが。</p>
<p>見守り、声かけ運動。</p>
<p>町会女性部を協力し、高齢者及び一人暮らしの方を毎月訪問し、町会長及び副町会に報告し、資料としてその日の状態を記録し共有しています。</p>
<p>地域で月に1回、お茶っこの会を開いて、お話をしたり、懐かしい歌を歌ったりして楽しんでいます。</p>
<p>地域での見守りが必要で、定期的に見守り訪問。</p>

《町会・地区社協・民生委員》

問18 自由記載

町内会が中心となり会館を使用して活動したいが、会館の維持費に苦勞している。会館維持の為の積極的な支援をお願いしたい。
地域の方々が参加する温泉旅行の実施。子供会行事への参加に手伝い協力。地域で行う運動会で地域の親睦。
行政でやってほしい。なかなか人が集まらない。
住民がもう少し地域に関心を持つことが必要ではないかと思っています。
・雪問題、歩道が狭く雪捨て場がなく高齢者、一人暮らしの人の他住民も困っている。・公共機関、バスの停留所等がなく不便。
私が住んでいる町会には、集会所がありません。他の集会所を借りて使用していますが老朽化しており、住民の方は、そこでの集まりには参加を希望しない人が多いのが実情です。地域福祉を進める上でも集会所を確保して、交流を深める場所を作ってほしいと思っています。
地域で集まる場所がもう少しあったらいいと考えます。今のところ各地の公共的な場所が少なく、ちょっと遠いと思います。
顔見知りになって声かけから交流もたれたらと思っていますが生活に忙しいので外に出かけ昼は居ない。行事などありますが同じ顔ぶれです。進んで参加に期待しては続きません。私の周りには高齢者が多いです。
福祉活動を担う人材が不足している。一人に負担がかかりすぎて。育成、教育が充実すれば最も良いと思っています。
集会所・地域の公民館など週に1~2回でも開放出来るシステムがあればいいと思います。
地域の過疎化が進む中で賑わいのある地域作りが必要ではないか。
町会等の行事に進んで参加する事によって地域の人々の顔もわかり、町会でどの様な事に力を入れているか分かると思います。地域が活発に発展するのは町会の皆の力が1つになれば良いと思います。若い人の力が必要な時になっているのではないのでしょうか。
町内会の交流会を増して、住民同士の触れ合いの機会を増していくことが大事だと思う。
個人情報that 乏しすぎる。
隣近所同士が互いに思いやりの心を持つこと。
・近所の地図が分かり易い掲示を。・玄関灯など、どの家でも灯すこと。・世話役、警察(派出所)など連絡し易いように場所、電話番号など必要なときすぐに見つけられるように。
これから先、町内会を維持していかれるのか不安。高齢者は家から出ず、若者は町内会の集まりに出席しない。一つの町会に偏らず地域を広めたらどうだろうか。
地域の人(農村)の協力がなく、啓蒙につとめて。若い人の意識が低く、福祉に対する認識を広めていきたい。
高齢者や障害者に対して、民生委員にばかりに委ねないで、市の方でももっと積極的に訪問して情報を提供して欲しいと思います。特に障害者に関しては何もわかりません。

小学生、中学生が挨拶をするのを見て、高校生、大人も挨拶をするよになると子供にも高齢者にも目が届くようになると思う。
現在の社会的には地域のリーダーと係等のなり手を養成することが第一に必要であると思います。
高齢者が多く夫婦1人が欠け1人暮らしが目立っています。外へ出る機会が少なくコミュニケーション無く、もう少し地域で皆さんが集まる場所が欲しいと考えます。元気で生きがいのある生活お年寄りが安心して暮らせる事を願ってます。
町内会と一帯になり活動出来ることが望ましいと思う。
地域で福祉活動に携わる人々は既に高齢化しており、中堅層の参加がほとんど期待出来ない事が悩みの種となっている。長い目で見た場合、学校教育の中で社会福祉の必要性を学ばせることが必要ではないか。
福祉に関する相談窓口の充実。
隣との付き合いのない人が意外に多く、1人暮らし・老夫婦2人暮らしの人は訪問すると話したい事がいっぱい狭い世界で生活されているなど感じます。月1回の食事会に来て皆さんとお話しながら仲間づくりをする様、声掛けしていますが、やんわり断られている状態。楽しんで欲しいと思っています。
高齢者の居住施設の充実を図ること(有料でよい)
北部市民センター内に健康寿命を延ばす為にも器械体操が出来る器具の設置と非常勤でも良いのでインストラクターを付けて欲しい(※介護予防の為)
校外ですが、緑が多く、静かな環境に住んでおります。少子高齢化が進み土日曜日、公園で遊ぶ子供の声が聞こえず、寂しく感じております。設備の整えた福祉館を建築してほしいと思います。
地域の中には、地域福祉に興味・関心や活動意欲のある人材が埋もれていると思われるので、それらの方々を発掘調査する。
戸建ての住民と団地に住んでいる住民が混在している。また県住と市住とが同じ敷地内に在るにも関わらず住民の交流はまったくない。地区社協も別団体。しかし新築になる集会所は共同で使用するという。なんか変じゃないですか?行政の都合で地域住民を分けているのではなか?団地住民の交流がはかれる様、後をしをしてほしい。
地域福祉を進める為の人材不足。協力者が少ない。
私の所は県営住宅です。どうしても団体生活の場であり個人の場でもありますが、他人に思いやる心が少ないように思います。そこを一步踏み出してくれたらもっと横の繋がりが出来ると思うのでどうしたらいいか考えています。(自分が手出しすると何かいわれるのが怖いと)
町会中心にした住民の日常生活、又は趣味等に関連した組織の仕組みづくりを行政が中心となって行い、町民が町会の活動希望する組織に参加し、これを通じて生きがいを感じられるものになりたい。町民が何かに参加し楽しめる日常生活の満たされないものを補える仕組み作りがあってはどうか、アンケート等活用して仕組みづくりする。
地域の方へ積極的に触れ合う、これしかありません。私達の声かけが一番だと思います。そして相手が心を開いてくれる。
・マンション、アパートの住民との交流がなく情報もほとんどない(町内会にも属さないのが難しい) ・住民が皆高齢化してしまい災害時に支援する方もされる方も高齢者なのが現状。

①民生委員として10年以上活動してきましたが、「避難行動要支援者」関係の仕事が確実に増え以前より格段に心労が増えました。どう考えてもボランティアの域を超えていると感じています。毎月毎月訪問する家が増え、このまま市役所の使い走りですら民生委員を続けるのは嫌です。「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らす」には私達のようなボランティアも必要だともおもいますが民生委員には限界を感じています。②児童扶養手当申請のために民生委員が現状確認者を書くのですが近頃は10代も多く、鼻にピアスなどして初対面で「現状確認書」を書いてくれ・・・と高圧的に来宅する人もいます。初対面の人の男女の関係など現状を知る由もありません。このような確認も本当に嫌ですし出来ません。市役所の担当者がやるべき事だと思います。

町会間の連携、各団体の連携強化。若手協力者の育成。町会長や地域リーダーの世代交代をスムーズに出来ないか。

昭和39年から現在地に住んでいる。引越して来た頃は、よそ者という目で見られた。しつくり行かぬ事もあった。“住めば都”でここが1番住みよい所と思う。老若男女問わず交流出来る何かがあればと考える。町会長、諸役員方々の尽力をの望んでいます。

若い人に参加して欲しい。

挨拶。

少なくとも地区の住民の氏名、年齢、家族構成等を町会で把握しておきたい。

自町会の高齢化率は35%を超え、青森市の平均を大きく上回っている。そのため、本人緊急時の救護者や避難支援者不在等の弱者が相当数おり、とても心配している。市役所～社協民児協～包括支援センター～町内会～消防～警察等のネットワークの強化が求められる。上記の垣根を極力取り除いて、今のうちから10年後20年後の高齢化社会を見据えた体制を創っていかないととんでもないことになると思う。

地域で出会った人々と、誰とでもいつでも笑顔で元気よく挨拶出来る事を心に掛けて生活したいと思えます。

浪打一丁目：浪打町会に町民の利用できる会館が無い為、質問にあるような活動は困難である。町内会、福祉活動を充実するため是非必要な施設である。全市を調査し、一定区域内に上記の施設がどのように配置されているか、検討すべきである。例、施設建設の土地があれば補助金を出すと、近くに施設が無いと離れた施設に行かなければならないとか、老人が増える社会にのんびりしてられないのではないか！

地域福祉活動の拠点となる施設の増設、充実を期待する。

地域ごとでの“防災訓練”について地域福祉で行って下さいと言うだけでは地域の隅々まで行って下さいというだけでは地域の隅にまで行き届いていない現状です。「避難行動要支援者台帳」等に多額の費用をかけるだけでなく、行政側の指導のもと避難訓練等を積極的に働きかけて下さる等役所で動いて「見本」を見せて頂きたいものです。そうでなければ“防災計画”は「絵に描いた餅」になりかねません。行政側の積極的な姿勢を期待するものです。

最近高齢者に対しては色々な福祉の情報がありますが、生活苦の若者、母子、父子世帯が見えず色々な問題が発生しています。犠牲者が出る前にもっと相談し解決できる窓口の充実を感じます。

声かけをしています。

<p>町会の役員が高齢者が多く、もう少し若い方が町会の活動に参加して頂ければ、色々な分野に活動が広がり、町会も発展して行く様な気がします。福祉に限らず、町会では町会員に向けて土手の草刈り、公園の草取り、親睦旅行等計画しておりますが若い方の参加が少ないです。</p>
<p>地域住民同士が助け合い差さえ合う事が出来る仕組みづくりがあったら良いと思う。</p>
<p>行政が各地域を巡回して町内もしくは地区社協との意見交換をして地域の実態を知って欲しい。年に4.5回程この様なアンケートだけでは問題点が見にくいと思います。</p>
<p>地域のコミュニティ機能の強化で人間関係が希薄になりつつある状況を改善する。</p>
<p>町会の役員でも成り手が少なく、役員は大変忙しい。</p>
<p>青森市民祭(?)等の無料コンサート(大正琴等)を高齢者(老人クラブ)の人達を送迎の為に福祉バスを無料で提供してほしい。お願いします。</p>
<p>・60歳からは高齢者、75歳からは後期高齢者などの年齢で区切って、様々な福祉活動が行われていますが、例えば60歳は今では若者と言える程だし、75歳を過ぎてもしっかりと独立して生活している人もいます。これからは単純に年齢が高いからと福祉の恩恵を受けなさいと言えない状況が出てくる。では、どうするか…。 ・もう一つ最近気になるのは男性の一人暮らしが急増している。そして女性は一人でも何とか生活を崩さずにいるが、男性は酒、食事をしない、物を整頓しない、ゴミの出し方が分からない、庭は草ボーボー、居るか居ないか分からない。などの心配な事が増加している。この人達に目を向ける必要があるのでは?</p>
<p>各市民センターでおこなっている講座や教室を自由ヶ丘の会館でも行う為には、どのようにしたらよいか教えて欲しい。近くで、いろいろ学べたら、もっともっと交流の場が広がると思うので…。</p>
<p>私達民児委員は町内全部は手が届かないところがありますので、ご近所同士もっと助け合う地域になって欲しいと思います。</p>
<p>地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やす事。</p>
<p>自分の子供が小学校の頃だったと思いますが、町内の運動会が市民センター横の公園で行われました。私達の地区は広いので町内何部何区とわかれていましたが、各部ごとに分かれ子供から老人まで一緒になって協力し合い競技もとても楽しかった記憶があります。今でもよくあの時の様に運動会をやればと思います。(隣近所がもっと親しくなれるのでは?)又、町内の盆踊り大会も子供から老人まで沢山の参加があり、2日間とても楽しかったです。子供から老人まで一緒に協力出来る活動があればと思います!</p>
<p>高齢者の一人暮らし及び空家の増加が進んでおり、特に冬場の除排雪に支障が出ている。→流雪溝が整備されている荒川地区の家屋購入(移住)が制限無しで行えるよう都市計画法の見直しを要望する。 ※時代に合ったものに!</p>
<p>年々少子高齢化となり民生委員も高齢者・欠員等もあり、地域住民同士が助け合ったり支え合う事も難しくなる事を懸念しております。行政機関、包括支援センター等の地域へのもっと積極的な関わりが必要と思います。</p>
<p>周囲の着付けに目を向け、良いと思ったら行動して輪を広げる事、自分でも出来る事が見つかる、又見つける事。</p>
<p>町内会やボランティア団体、民生委員が高齢化していて、柔軟に発想や動く事が出来ない傾向がある。又、スタッフの勉強不足や理解の乏しさも感じる事が多い。</p>

<p>地域住民が集える会館があれば良いと思う。</p>
<p>地域同士もっと触れ合う場や機会を作っていたら良いと思います。高齢者達専用に講習会や講演会などを行えば良いと思います。</p>
<p>地域福祉を進める為の施設(市民センター)の拡充、これまでの8館構想で建設されてきた例えば荒川市民センター等の規模の大きいものは必要ない。最低限地域住民の集う事の出来る福祉館の建設やリフォームして安全に利用出来る場が欲しいです。</p>
<p>地域は、どんどん高齢化が進んでいる反面、生活保護世帯の増加で一部治安が悪くなり、子供や高齢者が安全に暮らしづらくなっている。地域の皆さん口々に“あそこさえなければ・・・”まとまって1つのアパートを占領している事に問題がある。まず地域の安全な環境が必要と思う。</p>
<p>居住する地域に歩道橋があるのですが樹木が育ち過ぎていたり手入れが不足だったりで害虫が発生し毎年の様に虫刺され等の被害が発生して困っている。又、秋になると日暮れが早い為、外灯が消えたり木の葉っぱで影が出来、児童・生徒には危険な事もある。こんな苦情はどこで聞いてもらえるのか。又、解決は可能なのか毎年の様に不満が出る。</p>
<p>誰もがいつでも気軽に立ち寄り自由に利用できるコミュニティセンターが欲しい!例えば(カルチャー、学生の作品発表、地域の人達の色々な発表会、研修会等々)子供から高齢者まで楽しく交流できる場所。是非、実現して欲しい!</p>
<p>個人情報秘守されるなか、手助けをしたり、支え合う点で壁になり、地域住民同士の繋がりが希薄になる時があります。核家族が進み、安心を守る為に難しい課題となっています。</p>
<p>冬の時期の除雪、排雪の充実だと思います。特に高齢者世帯、一人暮らしの高齢者の方達は困っております。そして引き籠もりで働けない若者達への道その家族の方達への情報提供など……。そばにそういう方が何組かいらっしやいましてある程度までは努力したのですがそこから進む事が出来ず心に残っております。</p>
<p>気軽に立ち寄れる“福祉カフェ”の様なものがあれば良い。</p>
<p>各種団体の行う諸行事への参加を気軽に行ける様な施策。</p>
<p>古くから住む人、新しい人と分け隔てなく関わっていく事。誰でもが自由に参加できる集いサークル等の充実(住み慣れた所でも近所の人を知らない事もあるため)</p>
<p>地域の様々な団体とのネットワークづくり→皆が参加しやすい事業の立案→完行</p>
<p>行政は、民生委員に対し、あまりにも多くを押しつけてはいませんか?私達も出来る事は限られており、出来る事なら次の人へと思っている人も多いです。出来るだけ、地域の為にと頑張っていますが、あまりにも押しつけな対応をされると、自分の時間、家族の時間が無くなります。皆さん、月のうち1/3~1/2位何かしら活動している事を知って欲しいです。</p>
<p>個人情報保護法が壁になり過ぎない様にもう少し臨機応変に対処して地域住民が他の人の手助けが出来やすい情報公開の方法を教えて欲しい。</p>
<p>高齢者世帯が多く活動が限定されてきている。世帯内に子世帯があっても同じく活動しない。高齢者と次世代との交流がうまく出来れば良いが。</p>
<p>冬の除雪が大変です。高齢者は特に大変で幸畑団地から引越する人もいます。幸畑団地にも除雪の側溝があれば良いと思います。</p>

<p>安否確認、民生委員 1 人では限りがあるので町内役員・老人クラブ等の役員と一緒に見守りを実施出来るると良いと常時考えております。</p>
<p>地域の方々に民生委員が何をしているか分かって下さればとても助かります。</p>
<p>高齢化社会を迎え地域福祉の充実は最も重要な施策の一つである。トップ(市長)が率先して推進すべき。</p>
<p>・町内の中に派閥らしきものがあるのであまり先人観を持たないで好きな人も嫌いな人も居ると思うが自分から進んで声をかけていく事によって少しは仲よくなって住みやすくなるかなあ? ・相手の話を十分聞いてあげる事。</p>
<p>若い働く町会の人達の行事への参加。地域の子供達の見守り等が大事だと思います。</p>
<p>近所住民が仲良くなる様な取り組み。雪でのトラブルがかなり多い様に見えます。</p>
<p>ご近所とのコミュニケーションの充実と徹底。</p>
<p>団塊世代が高齢者の年齢に達し、担当している町内でも一人暮らし及び高齢者のみの世帯が非常に増えています。先頃の新聞に「65 歳以上の高齢者の身体機能や健康レベルは 10~20 年前に比べ 5~10 歳若返っている」という研究発表が日本老年学会で報告されたとの記事が掲載されていました。(2015. 6. 14 付朝日新聞)我が町内の 60 代の方々も若々しく活動されていました。高齢者世帯の対象を 5 歳引き上げても良いのではないのでしょうか。</p>
<p>地域住民同士がふれ合う場所が少ない。特に雪国なので福祉館などを増やしてほしい。</p>
<p>地域住民が互いに協力し合う事で豊かな生活を続ける事が出来ると思う。</p>
<p>現在筒井地区の民生委員児童委員が高齢化をしてきており、後継者不足が重なって一人一人の負担が多くなっている様に思います。地域の方の民生委員児童委員に対する理解を何よりも後継者不足を解決する対策はないものかと思えます。高齢者が増え、子供の問題が多くなります。人材不足は大きな問題であると思えます。</p>
<p>公民館の施設の老朽化、お年寄りには椅子(座卓)、机が使いづらい。ティーカフェ施設があればいいなあー。子供達と交流できる施設、お年寄りと食事ができる施設など。</p>
<p>充実したスーパーが欲しい。福祉館、市民館、その他大きな皆が集まれる様な建物が欲しい。病院、温泉等欲しい。</p>
<p>住民の高齢化で町会活動にも参加しなくなっている為、住民同士のトラブルも発生している。(ゴミ置き場清掃当番や班の組長さん等)町会と連携して対処するもの大変である。</p>
<p>地域住民との交流の場が 1 ヶ月に 1 回あれば、親密感がわくと思う。</p>
<p>地域の住民が高齢化しているので地域に若い家族が入って住んでくれ。地域を活性化し高齢者も若い人もお互いに支援し合える地域にする。</p>
<p>地域で子供を育てる事を目的として近所同士の付き合いを活発にして昔の様に近所で子供の事を見守り出来る様な地域社会を作っていく。港町地区にはコミュニティセンターがないので、考慮して下さい。</p>
<p>1. 地域の活動拠点となる集会所が欲しい。2. 地域住民に地域福祉の重要性を認識させる為パンフ等を繰り返し回覧し意識改革を図る。</p>

<p>お年寄りの交流の場を作り、継続していける活動にする為、スタッフの充実を図って行って欲しい。地元小学校、中学校も統合の為なくなり、子供達との触れ合いも少なくなりました。元気な声を日中聞く事もなくなり、淋しい限りです。お年寄りとの交流できる場を作ってほしい。</p>
<p>東部市民センターもありますが小規模でも近くに高齢者でも歩いて気軽に集まれる場所があればと思っています。</p>
<p>町内会は高齢者中心の活動となっています。もっと若い人達に行事に参加、興味をもって欲しい。</p>
<p>言葉で簡単にかけません。</p>
<p>他の地域(町内)でこういうことに取り組んでいる情報が欲しいし、参考にして行きたいと思います。事例があれば!!</p>
<p>町内、民生委員をやり→役員や一部の人達は、地域の為頑張っている事がわかりました。難しい事ですが、多くの人が地域やいろんな物に感心を寄せ、出席、行動をしてくれれば、もっともっと理解し合え、住み良くなるのでは・・・?とっております。</p>
<p>もっと若い世代が活動に入りやすいよう、配慮したり、役員も一人一役で多くの人達が関わるようにすると色々な考え方や思いがあり、より良い福祉活動が出来ると思います。</p>
<p>・若い家族の町会行事への参加を促す。・お年寄りに対する情報を伝える。</p>
<p>行政があまり関わらず、地域の住民同士が助け合うようにならないといけないと思う。住民の意識を変えるようないい知識がないのでしょうか。</p>
<p>近所同士の交流が昔と違って少なくなっていると思うので、もっと交流を深め、仲良く暮らしていければいいと思います。(隣に住んでいる家の人が病気で入院していてもわからない状況です。)</p>
<p>今まで通りの活動で進めていきたい。</p>
<p>公の機関がもっと足を運んだら、アンケートも必要ないし、見えてくるのではないかと思います。どうしても、民間に頼っていると色々な問題が発生して来ます。ボランティアも同様だと思います。公の機関に期待するばかりです。</p>
<p>街燈の故障などに対する迅速な行政の対応を望む。</p>
<p>積極的に関わってくれる人材が少ない、高齢者が多く若い世代は働かなければならないので時間がない。声をかけても参加してくれない、訪問しても出てくれない等、悩みの方が多い、感心が薄い。・町会に集合場所、子供から高齢者まで</p>
<p>地域の人同士の声かけが何よりも大切だと思います。何かあった時に特に声かけが活かされる気がします。</p>
<p>高齢者の一番の心配事は雪に関する事が最も多い除雪だけでなく、融雪設備を充実し雪国でも安心して暮らせる青森市であって欲しいと思います。</p>
<p>民生委員・児童委員として担当地域の住民情報が欲しいです。住民訪問もし、高齢者等の把握に努めていますが、行政側からの調査に必要な情報が不足のため、大変です。災害時の事を考えると、とても不安です。他県、他市町村との交流をし、青森市役所も考えるべきです。基になるものが無ければ地域福祉計画の机上のものでしかありません。</p>
<p>冬期間の除雪の問題と団地(幸畑第四団地)の入居率を上げて欲しい(※72%位)</p>
<p>今後、高齢者の増加が予想されます。地域住民(町内会)同士のコミュニケーション作りが必須であると考えます。町内会の充実(具体的には役員会を増加し、情報提供の機を設ける)が重要。</p>

皆様には大変お世話になっております。これからも宜しくお願いします。
難しい問題です。
バウンドゴルフ、健康に気をつけながら、軽い運動を地域の人達と一緒に出来る事が楽しいです。誰でも参加できます。
町会全体の高齢者が多い為、地域館や近くの学校を利用して体操などをしたりすると、どうかなと思います。
住み慣れた地域の定義は何か明確にすべきである。町会なのか、近隣はどこまで指すのか明らかでない。これからは住み慣れた所だけでなく、どこに住んでも安心安全に暮らす事が必要であると考える。
人との出会いがあった時は、挨拶をする事から始めれば、もっと親しさが生まれると思う。
最近行政と地域の連携で交流を深め少し活動に協力する方が多くなりました。今後も民生委員として声かけや見守り、安否確認等地域が明るくなるように、又挨拶は大切ですね!!今後共、ご指導宜しくお願いします。
・地域住民同士がもっとコミュニケーションがとれる様な企画を実行する。・在宅高齢者が積極的に地域住民同士、隣人と仲良くなれる企画をする。(今それが薄れていると感じる)・在宅高齢者が(社会福祉に協力しているという生きがいをもてる企画をする。
災害時避難場所が遠い。高齢者は歩いていけない。他にも何ヶ所かあれば良いと思う。
空家が増え、高齢者(自分も含めて)が多くなりました。地域全体が暗くなりつつあります。若い人が住みたくなり、またその為には地元で働く場所が欲しいです。
年代の若い人の参加、協力!アパート等の居住者の情報が少ない。
地域福祉に熱意を持って行動出来るリーダー的存在が必要だと思います。
住み慣れたここ柳町で長い間商売をしていた方ですが年を重ね商売を辞め、校外に住居する娘さんの所へ行きました。しかし、柳町の人々と柳町が好きと総会、レクリエーション家族の協力もあり 88才になった今でも喜んで参加してくれます。その様子を見て、この地域には特に問題はないと感じました。
町内では運動会を初め、お互いがふれあう機会を設けているが参加する人は特定化し、なかなかお互いの輪が広がっていかない。でも 70代、80代の女性の方々は活動的でリーダー性のある方々が多いので声かけ「おはようございます」等、明るく元気な声がよく聞かれるので、お互いに気持ちよく嬉しい気持ちになる。比較的小さな町会の割には、アパートが7棟もあり、個人情報の関係で年齢等把握出来ず、訪問しても居るのか居ないのか分からなかったり、返答はするが会う事は出来ない等、同じ町内に居ながら、孤立して生活している方が増えているように感じる。アパートに住んでいる方も高齢の方であれば、年齢や氏名等、民生委員の方へ連絡が届く方もあれば、把握しきれていない方も居るように感じています。不動産では個人情報の為、町内には教えない。例えば、75才以上の方が住んでいる時は町会長、民生委員には連絡する等の取決めが欲しい。
地域住民が何事にも無関心過ぎると思う。地域全体で取り組める様な物が多いと良いと思う。今後高齢化が進めば住民(地域)の連携が必要となる。早ければ早いほど取り組めたら良いと思う。
地域が高齢化になり自分の事で精一杯で余裕がなくなっている。

<p>子供や高齢者がいつでも出入り出来る施設で楽しく過ごせる場所があれば顔見知りも増えて、地域内が明るくなり、交流も出来て良いのではないかと思います。</p>
<p>隣同士が声を掛け合う事。助け合いが必要です。</p>
<p>冬場、雪で困っている高齢者が年と多くなっているのに雪対策にいつても何か良い方法がないでしょうか？</p>
<p>高齢者が見守りをされていると感じる仕組みづくりが必要だと思います。</p>
<p>交通手段(せつかくの交流場所があっても、そこまで行く足がない)</p>
<p>地域住民の高齢化が進んで活動を担う人材が少ないのが実情です。年齢に関係なし、お互い住民同士、助け合い支えあって協力していかなければと感じています。</p>
<p>地域福祉について子供や若い世代の方には参加しづらいのか必要性が理解できないのか、助け合いや支え合う事が少ないと思うので、啓発が必要だと思う。</p>
<p>地区社協管内、包括センター管内で様々な取組みがされていますが、具体的に効果が期待出来るのは、より狭い範囲の「町会」です。町会ごとに意識の差が見られ、町会幹部(町会長、役員)への意識高揚対策が最重要と考えます。問 14～16 の 7 項目について民生委員が推進するために、町会の協力が不可欠ですが、現状では町会幹部の意識が低いので、踏みとどまっている現実です。</p>
<p>町内会役員、地区社協、民生、関わりのある方々の団結!が一番。高齢になられた方々が上に居ますと、なかなか下の意見を聴かない面倒な事はやりたがらない町内会会長、役員!又、役員同志の仲が悪い事が一つにまとまらない理由ありと思います。</p>
<p>①自分が住んでいる地域にもっと感心を持ってもらいたい。②子育て支援で地域の小さい公園等整備したら子供達も外での遊びが楽しくなると思う。③老人クラブの活動に援助を充実して欲しい。</p>
<p>冬場は特に家にこもりがち。気軽におしゃべり出来る屋内施設が近くにあると良いと思う。</p>
<p>行政と福祉に携わっている方々との繋がりをしっかり支える仕組み作りを強くする。相談の窓口を一つにしていく。</p>
<p>色々と行事を町内で行っているけれども参加する人が決まっている。</p>
<p>家の前を通学する児童・生徒に出来る限り声をかけ、見守りしています。時にはあの笑顔に私も励まされる事もあります。又、地域の健康教室・町内女性部での健康体力づくりの行事他お手伝いもかねて参加していますが微力ながら少しでも地域の人々とふれあえれば・・・と日頃より心しております。</p>
<p>市 - 社協 - 地区社協 - 町会連合会 - 町会 - 民生委員の定期的な交流が欲しいと願っております。</p>
<p>私は「見守りや声駆け活動」をかねて、どうしても人に馴染めない高齢者がいて、どうしたら家から出せるのか考えた。町会の役員も私がやっているのに、町会の回覧を隣に廻す時に浅虫にレクリエーションで行くんだって一緒に行こうと1人であるより温泉に入って御馳走たべてくるべしと誘って家から出すようにした。そうでもしなければ、引き籠もりになっているので、仕方なく行ってみただけけれど、時間経つごとに笑顔になり大きい声も出ているのを、遠くから見て無理に連れてきて良かったなと思った。このままの状況が続けば孤独死と言う事を考えていましたが、どうやら人の輪の中に入れたなと、ほっとしました。後日聞いてみたら楽しかったと、自分の考えがおかしかったと、又誘ってねと言われ一つ肩の荷が取れたような気がした。誠意を持って接すれば答えは出ると言う事を体験しました。</p>

最近、隣組の班長をしまったので、町会の総会に出ましたが、町民の参加が少ないのにびっくりしました。班長でさえ出席していなかったのです。地域住民同志の助け合いという事も難しくなっていると思います。又、今冬は雪の件で近所といがみ合うという事件が起きました。つまり、地域福祉は健康福祉部だけの問題ではなく、道路課等の協力もなくてはなりませんね。

人間の基本である健康づくりを地域、行政全体で取り組む姿勢が住民がまとまっていくもとなるかも。例えば、運動を兼ねた地域清掃活動の実施とか。

地域福祉に対して活動している年代が50代以上で若い世代(大学生、高校生等)にボランティア活動をしてもらい、関心を持ってもらいたい。また30代40代の方々は仕事に追われ、なかなか協力できていないが、負担にならない程度で協力して欲しいと思う。

近くにスーパーもなく運転出来る方は何んて事はないけれど高齢者には不便です。食料販売者でも来てくれば良いのですが。

近所の人との交流が大切な事だと思います。一人暮らしになった時など特に自分の子供にも近所の人々の事を話しておく事も大事なのではないのでしょうか。

60代70代が頑張っているのですが若い人達との交流がなく、町会運営が先細りの現状です。町会の事に関心を持ってもらうにはどうすればよいのだろうか?御指導お願いしたいです。

高齢者が増える現在困窮者が多くならない政策を考えて欲しい。

自分の今の行動が精一杯で未だ未だ余裕がありません。先ず自分が確りすること、もっと勉強してからと思います。「自分が確りすれば、自分の行動が地域に貢献するでしょう」他の人も同じことを考えていると思います。どうしたら全員、その気持ちを出せるのでしょうか。問17の1番が必要です。

自己啓発に他ならないと思います。昨今の殺伐した世の中であってどうしたら暮らしやすい、そして昔の様な近所の付き合いの出来る和気あいあいとした笑顔の絶えない街作りが一つ一つの町会の我が広がる事により社会全体が明るくなっていくと思います。私は、町内1人1人に必ず挨拶を心掛けております。アパートの方々から、初め朝の挨拶は忘れずやっています。

同じ町内に居ても少し離れている方の氏名も知らないで生活してる傾向があります。もっと地域のふれあいが大切におもいます。町内で何かのお楽しみ行事をしてみたらいいのでは・・・と考えています。